

TOUR DE HOKKAIDO 2016 9.1 THU → 3 SAT

第30回 ツール・ド・北海道

ステージレース 総走行距離511km

第1ステージ《タイムトライアル 1km》9/1(木) 札幌市豊平区豊平川河川敷地

第2ステージ《ロードレース 111km》9/1(木) 札幌市～赤井川村～倶知安町

第3ステージ《ロードレース 180km》9/2(金) 倶知安町～蘭越町～倶知安町

第4ステージ《ロードレース 219km》9/3(土) 倶知安町～洞爺湖町～札幌市

第1ステージ
札幌 Sapporo
第2ステージ
第3ステージ
第4ステージ
倶知安 Kutchan
ステージレース



事業報告 RACE REPORT

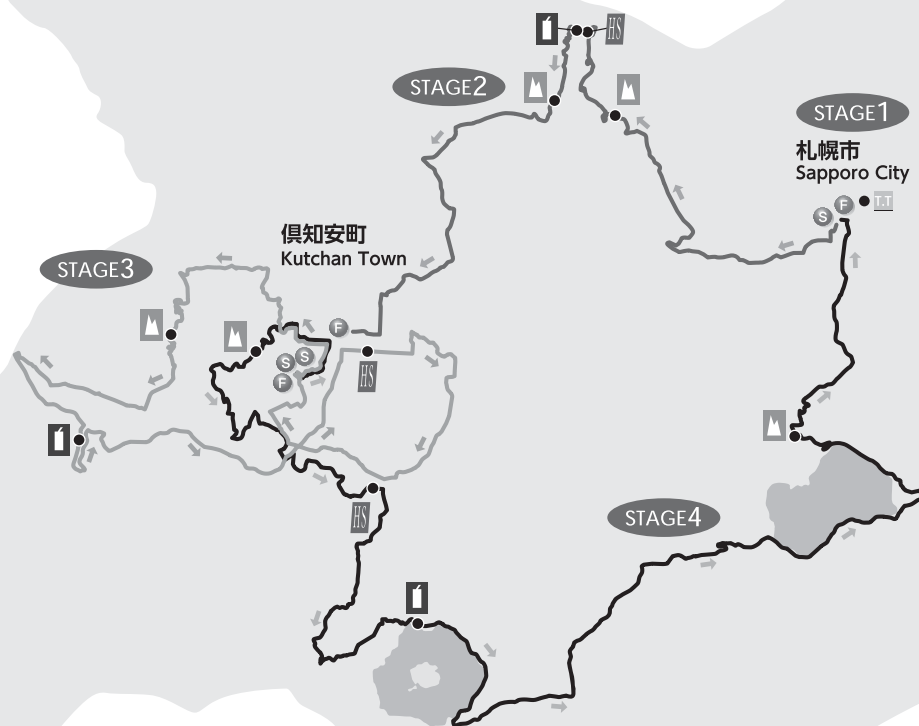


RING!RING! この大会は、競輪の補助を受けて実施しました。
プロジェクト <http://ringring-keirin.jp>



Course Layout 2016

コースレイアウト2016



■ 9月1日(木)出発式

会場 札幌市豊平区 豊平川河川敷地特設会場 <8:00~8:15>

[競技日程]

■ 9月1日(木)第1ステージ 1Km(個人タイムトライアル) 札幌市

スタート: 札幌市 豊平川河川敷地 <8:30>

フィニッシュ: 札幌市 豊平川河川敷地

■ 9月1日(木)第2ステージ 111Km(ロードレース) 札幌市~小樽市~赤井川村~倶知安町

スタート: 札幌市南区 アバホテル&リゾート札幌前 <13:00>

フィニッシュ: 倶知安町 公民館手前

■ 9月2日(金)第3ステージ 180Km(ロードレース) 倶知安町~蘭越町~京極町~倶知安町

スタート: 倶知安町 ヒラフスキー場前 <9:30>

フィニッシュ: 倶知安町 ヒラフスキー場前

■ 9月3日(土)第4ステージ 219Km(ロードレース) 倶知安町~洞爺湖畔~千歳市~札幌市

スタート: 倶知安町 ヒラフスキー場前 <9:30>

フィニッシュ: 札幌市 真駒内公園

■ 9月3日(土)最終表彰式 札幌市南区 アバホテル&リゾート札幌 <18:00>

- S スタート/START
- F フィニッシュ/FINISH
- IT 個人タイムトライアル/INDIVIDUAL TIME TRIAL
- HS ホットスポット/HOT SPOT
- MS 山岳ポイント/KING OF MOUNTAINS
- FZ 補給所/FEED ZONE

総走行距離
511km

2016
AREA

国内で唯一、大自然の中を町から町へと公道を使用して巡る本格的な自転車ステージレース「ツール・ド・北海道」は、今年で30回目(第1回/1987年)を迎え、道央地域において9月1日(木)から3日(土)までの3日間、4ステージにわたるレースを開催した。道央地域での開催は、第27回大会以来3年振り5回目。

9月1日(木)の第1ステージは、第1回大会においてプロローグを開催した記念の場所、札幌市豊平区の豊平川河川敷地特設コース(南七条大橋付近)において個人タイムトライアルを実施した。同日午後からは第2ステージのロードレースを行い、札幌市南区のアバホテル&リゾート札幌前からスタート、定山溪から道道1号の朝里峠、国道393号の毛無峠を越え、赤井川村のキロロリゾート前を通過し、樺立トンネルを抜けて倶知安町公民館手前でフィニッシュする111kmのコース。9月2日(金)の第3ステージは、倶知安町ヒラフスキー場前からスタートして、今大会最大の難所、新見峠(標高747m)を越えて蘭越町に入り、日本海に突き当たるまで一気に駆け下りた後、道道267号(磯谷蘭越線)を尻別川沿いに走って、ニセコ町から倶知安町に至る国道5号を疾走し、蝦夷富士の別名で知られる「羊蹄山」の麓を時計回りに一周してスタート地点の倶知安町ヒラフスキー場前に戻る180km。最終日、9月3日(土)の第4ステージは、倶知安町ヒラフスキー場前からスタートして、ニセコ町、真狩村、豊浦町を経て洞爺湖畔をほぼ半周し、壮瞥町から伊達市大滝区、さらに滝笛トンネルを抜けて支笏湖畔を疾走し、国道453号を北上して札幌市南区の真駒内公園でフィニッシュする大会史上最長の219kmを走破した。

本大会には国内外から20チーム99人の選手が出場し、広大な北海道の自然環境の中、急峻な峠やニセコ連峰周辺など、変化に富んだコースを舞台に白熱したレースが展開された。

ツール・ド・北海道2016 事業報告書

●大会概要

公益財団法人 ツール・ド・北海道協会

1.事業開始	2016年5月10日(火) 札幌市中央区北5条西6丁目第二道通ビル2A会議室において「ツール・ド・北海道2016」実行委員会を開催												
2.事前会議	2016年8月31日(水) 役員打合せ会議、参加チーム受付、ライセンスコントロール、監督会議、審判合同会議、部門別会議、報道会議、ドライバーズミーティング												
3.大会期間	2016年9月1日(木)～9月3日(土) 3日間												
4.ステージレース	日程	日 程	競 技		経路・会場	距離(km)	道路別距離(km)						
					第1ステージ(個人タイムトライアル)	豊平川河川敷地	1	国道／197.7(38.7%)					
						第2ステージ(ロードレース)	札幌市～倶知安町	111	道道／239.7(46.9%)				
							第3ステージ(ロードレース)	倶知安町～倶知安町	180	市町村道／72.7(14.2%)			
	参加チーム (20)	海外チーム(5)	NIPPO-ヴィーニ ファンティニ(イタリア)、ジェリーベリーP/B MAXXIS(アメリカ)、セントジョージメリダサイクリングチーム(オーストラリア)、ヴェロクラブ メンドリシオ(スイス)、SPIN11ダブリン(アイルランド)										
国内チーム(15)			愛三工業レーシングチーム、ブリヂストンアンカーサイクリングチーム、群馬グリフィンレーシングチーム、キナンサイクリングチーム、マトリクスパワータグ、那須ブラーゼン、シマノレーシングチーム、チーム右京、宇都宮ブリッツェン、北海道地域選抜チーム、京都産業大学、鹿屋体育大学、日本大学、明治大学、北海道大学										
	● 参加選手 99名												
5.市民ロードレース	日程・参加者	日 程	競 技		経路・会場	距離(km)	申込者数(人)		参加者数(人)				
					9月2日(金)	市民ロードレース	Aコース	倶知安町～倶知安町	124	141	452	125	393
							Bコース	倶知安町～倶知安町	92	196		165	
							Cコース	蘭越町～倶知安町	44	115		103	
6.関係市町村	総数	17市町(6市9町2村)											
	地元賞等	倶知安町(「ジャガイモ」10kg、倶知安のお酒、豪雪うどん) 札幌市(札幌円山動物園「白くまラーメン」、2017冬季アジア札幌大会公式マスコット「エゾモン」) 蘭越町(米「なつぼし」) 【市民ロードレース】											
	アトラクション	倶知安町「くっちゃん羊蹄太鼓保存会」による演奏											
7.関係者	役員	大会役員 51名、実行委員・幹事 75名、競技役員 193名 計 319名											
	交通整理等	警察官 142名、コース・会場警備員 539名、コース整理員 456名 計 1,137名											
8.広報・安全対策	広報対策	ポスター 6,000枚、交通規制チラシ45,000枚、新聞(北海道新聞、読売、朝日)、日本道路交通情報センター、国道道路情報板、各種スポーツ雑誌等 テレビ放送 HTB(全道)10/6(木)、再放送10/8(土) ホームページ											
	安全対策	交通規制・競技看板 390枚、セイフティーコン 1,506本、バリケード 2,474m											
9.観衆人員(概数)	60,750人												
10.印刷物	ガイドブック 10,000部、テクニカルガイド500部、事業報告書500部、市民ロードレースプログラム700部												
11.車両、宿泊	車両使用台数133台(うち2輪車29台)、パトカー6台、宿泊施設数3か所												
12.まとめ	ツール・ド・北海道2016は、今年で30回を迎え、道央地域を中心に9月1日(木)から3日(土)までの3日間にわたり、個人タイムトライアルとロードレースを開催した。参加チームは、海外から5チーム、国内から学生を含め15チームの計20チーム、参加選手は99名。 大会初日は、第1ステージとして午前8時30分から豊平川右岸、「南7条大橋」たもと河川敷地において距離1kmの個人タイムトライアル競技を行った後、第2ステージとして、午後1時に札幌市南区川沿をスタート、定山溪を経て朝里峠を越え小樽市に至り、赤井川村の毛無峠を越え、倶知安町でフィニッシュする111km。二日目の第3ステージは、倶知安町ニセコヒラフスキー場前をスタート、新見峠を越え、一旦、日本海側に出た後、再び内陸に戻り、羊蹄山の外周を一周し、スタート地点に戻りフィニッシュする180km。三日目の第4ステージは、倶知安町ニセコヒラフスキー場前をスタート、五色温泉を通過した後、洞爺湖、支笏湖を経て、札幌市真駒内公園でフィニッシュする219kmのコースで総走行距離511km。 今回は、5年振りにタイムトライアルレースが行われたほか、ロードレース3ステージとも、先行グループと追走するメイン集団との駆け引きが繰り返されるなど、最後までスリリングで白熱したレース展開となった。 個人総合優勝を果たしたのは、増田成幸(宇都宮ブリッツェン)選手で、6年振りに日本人選手が優勝した。なお、増田成幸選手は個人総合山岳賞を併せて受賞した。また、個人総合ポイント賞はデネグリ ビエール パオロ(NIPPOヴィーニファンティニ)選手が受賞した。 団体総合時間賞はブリヂストンアンカーサイクリングチームで6年振りに優勝、さらに、本年新設したU26団体総合時間賞はヴェロクラブメンドリシオ(スイス)が受賞した。本大会の開催を通じて選手の競技力向上、若手選手の人材育成はもとより、地域の振興・活性化、国際親善にも貢献した。また、同時開催した市民ロードレースと併せ、サイクルスポーツの魅力を広く一般に伝え、その普及・振興に大きく貢献した。												

2016 エントリーチーム

■NIPPO・ヴィーニ ファンティーニ(イタリア)
NIPPO-VINI FANTINI (ITALY)


●選手 / RIDER

スタキオッティ リカルド
STACCHIOTTI Riccardo
ベルラート ジャコモ
BERLATO Giacomo
コッリ ダニエーレ
COLLI Daniele
デネグリ ビエールパオロ
DE NEGRI Pier Paolo
小石 祐馬
KOISHI Yuma

●監督 / SPORTS DIRECTOR

大門 宏
DAIMON Hiroshi

■セントジョージ メリダ サイクリングチーム (オーストラリア)
ST.GEORGE MERIDA CYCLING TEAM(AUSTRALIA)


●選手 / RIDER

ダットン ジェイ
DUTTON Jay
ボネロ ダニエル
BONELLO Daniel
ウッズ ニコラス
WOODS Nicholas
シャープ パトリック
SHARPE Patrick
デヴィース ジョーダン
DAVIES Jordan

●監督 / SPORTS DIRECTOR

ボイス スチュアート
BOYCE Stuart

■SPIN 11 ダブリン (アイルランド)
SPIN 11 DUBLIN(IRELAND)


●選手 / RIDER

マックグリンチー クリストファー
McGLINCHEY Christopher
フィーリー ダラ
FEELEY Daire
マックローリン ローナン
McLAUGHLIN Ronan
オマホニー ダラー
O'MAHONY Darragh
マックローリー クレイグ
McAULEY Craig

●監督 / SPORTS DIRECTOR

コナトン ブライアン
CONNAUGHTON Brian

■ブリヂストンアンカーサイクリングチーム
BRIDGESTONE ANCHOR CYCLING TEAM


●選手 / RIDER

ルバ トマ
LEBAS Thomas
モニエ ダミアン
MONIER Damien
初山 翔
HATSUYAMA Sho
鈴木 龍
SUZUKI Ryu
西蘭 良太
NISHIZONO Ryota

●監督 / SPORTS DIRECTOR

水谷 壮宏
MIZUTANI Takehiro

■キナンサイクリングチーム
KINAN CYCLING TEAM


●選手 / RIDER

クロフォード ジャイ
CRAWFORD Jai
ガルシア アンブロー リカルド
GARCIA AMBROA Ricardo
伊丹 健治
ITAMI Kenji
野中 竜馬
NONAKA Ryoma
阿曾 圭佑
ASO Keisuke

●監督 / SPORTS DIRECTOR

石田 哲也
ISHIDA Tetsuya

■ジェリーベリー P/B MAXXIS (アメリカ)
JELLY BELLY P/B MAXXIS(UNITED STATES OF AMERICA)


●選手 / RIDER

ブライコ アレクサンダー
BRAICO Alexander
プット クリストファー
PUTT Christopher
シーハン マイケル
SHEEHAN Michael
モートン ラ克蘭 デイヴィッド
MORTON Lachlan David

●監督 / SPORTS DIRECTOR

ライス マシュー
RICE Matthew

■ヴェロクラブ メンドリシオ (スイス)
VELO CLUB MENDRISIO(SWITZERLAND)


●選手 / RIDER

バディラッティ マッテオ
BADILATTI Matteo
カイローリ ルカ
CAIROLI Luca
ニップ ニールス
KNIPP Niels
リナルディ ニコラス
RINALDI Nicholas
ティエリー シリル
THIERY Cyrille

●監督 / SPORTS DIRECTOR

ニコレッティ ダリオ
NICOLLETTI Dario

■愛三工業レーシングチーム
AISAN RACING TEAM


●選手 / RIDER

伊藤 雅和
ITO Masakazu
早川 朋宏
HAYAKAWA Tomohiro
中根 英登
NAKANE Hideto
小森 亮平
KOMORI Ryohei
原田 裕成
HARADA Hiroaki

●監督 / SPORTS DIRECTOR

西谷 泰治
NISHITANI Taiji

■群馬グリフィンレーシングチーム
GUNMA GRIFIN RACING TEAM


●選手 / RIDER

狩野 智也
KANO Tomoya
菅 洋介
SUGA Yosuke
倉林 巧和
KURABAYASHI Takuto
長沼 隆行
NAGANUMA Takayuki
杉野 元基
SUGINO Genki

●監督 / SPORTS DIRECTOR

室岡 誠
MUROOKA Makoto

■マトリックスパワータグ
MATRIX POWERTAG


●選手 / RIDER

トリビオ ホセ ヴィセンテ
TORIBIO ALCOLEA Jose Vicente
フェルナンデス カサソラ アイラン
FERNANDEZ CASASOLA Airan
佐野 淳哉
SANO Junya
土井 雪広
DOI Yukihiro
吉田 隼人
YOSHIDA Hayato

●監督 / SPORTS DIRECTOR

安原 昌弘
YASUHARA Masahiro

2016 エントリーチーム

■那須ブラーゼン
NASU BLASEN

●選手 / RIDER

吉岡 直哉
YOSHIOKA Naoya
水野 恭兵
MIZUNO Kyohei
下島 将輝
SHIMOJIMA Masaki
西尾 勇人
NISHIO Hayato
高木 三千成
TAKAGI Michinari

●監督 / SPORTS DIRECTOR

清水 良行
SHIMIZU Yoshiyuki

■シマノレーシングチーム
SHIMANO RACING TEAM

●選手 / RIDER

入部 正太郎
IRIBE Shotaro
木村 圭佑
KIMURA Keisuke
小橋 勇利
KOBASHI Yuri
湊 諒
MINATO Ryo
西村 大輝
NISHIMURA Hiroki

●監督 / SPORTS DIRECTOR

野寺 秀徳
NODERA Hidenori

■チーム右京
TEAM UKYO

●選手 / RIDER

畑中 勇介
HATANAKA Yusuke
平井 栄一
HIRAI Eiichi
住吉 宏太
SUMIYOSHI Kota
ブラデス ベンジャミン
PRADES Benjamin
アベラストゥリ イザガ ジョン
ABERASTURI IZAGA Jon

●監督 / SPORTS DIRECTOR

桑原 忠彦
KUWABARA Tadahiko

■宇都宮ブリッツェン
UTSUNOMIYA BLITZEN

●選手 / RIDER

阿部 嵩之
ABE Takayuki
増田 成幸
MASUDA Nariyuki
鈴木 譲
SUZUKI Yuzuru
大久保 陣
OKUBO Jin
堀 孝明
HORI Takaaki

●監督 / SPORTS DIRECTOR

清水 裕輔
SHIMIZU Yusuke

■北海道地域選抜
SELECTED HOKKAIDO

●選手 / RIDER

熊坂 和也
KUMASAKA Kazuya
中川 拳
NAKAGAWA Ken
佐野 千尋
SANO Chihiro
菅原 勇人
SUGAWARA Hayato
三輪 俊史
MIWA Toshifumi

●監督 / SPORTS DIRECTOR

坂上 信也
SAKAGAMI Shinya

■京都産業大学
KYOTO SANGYO UNIVERSITY

●選手 / RIDER

安田 京介
YASUDA Kyosuke
間瀬 勇毅
MASE Yuki
須堯 元春
SUGYO Motoharu
藤田 俊輔
FUJITA Shunsuke
松下 綾馬
MATSUSHITA Ryoma

●監督 / SPORTS DIRECTOR

山岸 正教
YAMAGISHI Masanori

■鹿屋体育大学
NATIONAL INSTITUTE OF FITNESS & SPORTS in KANOYA

●選手 / RIDER

徳田 優
TOKUDA Suguru
山本 大喜
YAMAMOTO Masaki
黒枝 咲哉
KURODA Saya
富尾 大地
TOMIO Daichi
石井 駿平
ISHII Shunpei

●監督 / SPORTS DIRECTOR

脇野 栄治
WAKINO Eiji

■日本大学
NIHON UNIVERSITY

●選手 / RIDER

吉田 悠人
YOSHIDA Yuto
大浦 堯
OURA Gyo
岡本 隼
OKAMOTO Hayato
小嶋 健太
KOJIMA Kenta
武山 晃輔
TAKEYAMA Kosuke

●監督 / SPORTS DIRECTOR

井上 由大
INOUE Yoshihiro

■明治大学
MEIJI UNIVERSITY

●選手 / RIDER

小林 和希
KOBAYASHI Kazuki
眞砂 英作
MASAGO Eisaku
松本 祐典
MATSUMOTO Yusuke
隅園 郷史
KUMAZAWA Satoshi
竹村 拓
TAKEMURA Taku

●監督 / SPORTS DIRECTOR

本間 滋
HONMA Shigeru

■北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

●選手 / RIDER

樋口 亜門
HIGUCHI Amon
長澤 優樹
NAGASAWA Yuki
三浦 友視
MIURA Tomomi
清水 優
SHIMIZU Yu
木村 祐己
KIMURA Yuki

●監督 / SPORTS DIRECTOR

村木 泰輔
MURAKI Taisuke

2016

出発式

STARTING CEREMONY

9/1(木) 札幌市豊平川河川敷地特設会場

9月1日午前8時から札幌市豊平区の豊平川河川敷地において出発式を行い、ツール・ド・北海道2016が開幕した。海外から5チーム、国内から15チーム、合わせて20チーム計99人の選手が参加して競技を開始した。



出発式に臨む選手たち



MC



主催者挨拶
山本隆幸 大会長



ロヒナヴィ ナタポン チーフコミセール

第1ステージ

Stage 1

9/1 Thu. Start 8:30

1km 個人タイムトライアル 札幌市豊平川河川敷地

STAGE 1

札幌市
Sapporo City



台風一過の青空が広がる豊平川河川敷地において、出発式に引き続き第1ステージの個人タイムトライアルが行われ99人の選手が1分間隔で出走し個人のベストタイムを競った。

序盤に吉田(マトリックス)が1分16秒56で暫定1位に立ちしばらく更新されない状況が続いたが、向かい風が強い中58番目にスタートしたアベラストゥリ(チーム右京)が、1分14秒16のベストタイムを叩き出しトップに躍り出た。その後出走した有力選手の記録更新はならず、そのままアベラストゥリがステージ優勝してマラカイトグリーンのリーダージャージを獲得した。



スターター
山本隆幸 大会長



スタート地点



レース解説者
第1回大会総合優勝 高橋松吉さん(向って左)
第8回大会総合優勝 大野直志さん(中央)



激走する選手



観客の声援を受けて力走する選手



ベストタイムでフィニッシュする
アベラストゥリ イザガ ジョン(チーム右京)



個人区間・総合時間 1位
アベラストゥリ イザガ ジョン(チーム右京)

Stage1 競技結果

■個人区間順位

- 1位 アベラストゥリ イザガ ジョン(チーム右京) 1'14"16
- 2位 ティエリー シリル(ヴェロクラブ メンドリシオ)
- 3位 スタキオッティ リカルド(NIPPO-ヴィーニ ファンティニ)

■個人総合時間順位

- 1位 アベラストゥリ イザガ ジョン(チーム右京) 1'14"
- 2位 ティエリー シリル(ヴェロクラブ メンドリシオ)
- 3位 スタキオッティ リカルド(NIPPO-ヴィーニファンティニ)

■個人総合ポイント順位

- 1位 アベラストゥリ イザガ ジョン(チーム右京)

第2ステージ Stage 2

9/1 Thu Start 13:00

111km Road Race

札幌市(アパホテル前)→小樽市
→赤井川村→倶知安町(公民館手前)

倶知安町
Kutchan Town

札幌市
Sapporo City



■レースの概要

午前の個人タイムトライアルに続き、午後からはロードレース。札幌市南区のアパホテル&リゾート札幌前から午後1時に99人がスタート、朝里峠、毛無峠を越えて倶知安町公民館手前までの実距離108.1kmのレース。

3.1kmのパレードを終え午後1時7分正式スタート。序盤でボネロ(セントジョージ メリダ)がアタックしメイン集団とのタイムギャップは20秒。ルバ(ブリヂストン)、増田(宇都宮ブリッツェン)、西菌(ブリヂストン)が追走、先頭にジョインして先頭は4名。一回目の朝里峠KOMは、1位増田、2位ルバ、3位ボネロの順。また、望洋台大橋先HSの中間スプリント結果は、1位プラデス(チーム右京)、2位 増田、3位山本(鹿屋体大)の順で通過、この時点で先頭からセカンド15人まで2分40秒、メイン集団まで5分のタイムギャップ。二回目の毛無峠先KOMでは1位増田、2位ルバ、3位ボネロの順で通過したが、その直後に増田が単独でアタック。先頭で逃げる増田はペースを落とさず、残り1kmをトップで通過、続いてセカンド14名も通過したがタイムギャップは50秒。先頭とメイン集団とは7分のタイムギャップ。結局、増田はこの差をキープして倶知安町公民館手前を一着でフィニッシュ、大差をつけてステージ優勝した。2位モニエ(ブリヂストン)、3位鈴木(宇都宮ブリッツェン)。増田は個人総合時間と個人総合山岳賞でも首位、個人総合ポイント賞はティエリー(ヴェロクラブ メンドリシオ)が首位に立ち、それぞれリーダージャージを獲得した。(完走87人。)



スタート前に激励を受けるリーダー



地元チームの応援団



スターター
石川 敏也 札幌市スポーツ局長



アパホテル&リゾート札幌前スタート



沿道からの大応援(藻岩小学校前)



KOM 朝里峠トンネル手前(35.5km)
1位通過 増田 成幸(宇都宮ブリッツェン)



HS 小樽市望洋台大橋先(51.4km)
1位通過 プラデス ベンジャミン(チーム右京)



KOM 毛無峠先 (65.4km)
1位通過 増田 成幸(宇都宮ブリッツェン)



フィニッシュ
増田 成幸(宇都宮ブリッツェン)



歓迎の挨拶
プレゼンター 西江 栄二 俱知安町長



個人区間順位 1位 増田 成幸(宇都宮ブリッツェン)
2位 モニエ ダミアン(ブリヂストンアンカーサイクリングチーム)
3位 鈴木 譲(宇都宮ブリッツェン)



個人区間・総合山岳賞
1位 増田 成幸
(宇都宮ブリッツェン)



個人総合ポイント
1位 ティエリー シリル
(ヴェロクラブ メンドリシオ)



個人総合時間
1位 増田 成幸
(宇都宮ブリッツェン)



アシスタント
俱知安町観光協会 川名真美さん
俱知安町役場職員 瀧上由貴さん



ファンとの触れ合い

Stage 2 競技結果

- 個人区間順位
1位 増田 成幸(宇都宮ブリッツェン) 2:39'56"
2位 モニエ ダミアン(ブリヂストンアンカーサイクリングチーム)
3位 鈴木 譲(宇都宮ブリッツェン)
- 個人区間・総合山岳賞順位
1位 増田 成幸(宇都宮ブリッツェン)
- 個人総合時間順位
1位 増田 成幸(宇都宮ブリッツェン) 2:41'09"
2位 ティエリー シリル(ヴェロクラブ メンドリシオ)
3位 ブラデス ベンジャミン(チーム右京)
- 個人総合ポイント順位
1位 ティエリー シリル(ヴェロクラブ メンドリシオ)

第3ステージ Stage 3

9/2 Fri Start 9:30

180km Road Race

倶知安町(ヒラフスキー場前)→共和町
→蘭越町→ニセコ町→倶知安町→京極町
→喜茂別町→真狩村→ニセコ町
→倶知安町(ヒラフスキー場前)



■レースの概要

第3ステージは、ヒラフスキー場前発着の実距離177.2kmのレース。午前9時30分、20チーム87人がスタート。最初の逃げが決まったのは15km地点、木村(シマノ)と野中(キナン)が逃げてニセコパノラマラインを上って行く。その後メイン集団からダットン(セントジョージ メリダ)、フィーリー(SPIN 11)、さらにブライコ(ジェリーベリー)が追走。新見峠KOMでは、ブライコ、ダットン、フィーリー、木村、野中の順で通過。KOM後の下りで選手がばらけ、先頭はメイン集団に吸収され直後に4人がアタック。先頭4人は、佐野(マトリックス)、早川(愛三工業)、阿曾(キナン)、山本(鹿屋体大)。127.5km地点の倶知安町HSでは、佐野がトップ通過、早川、山本の順で続く。朝、綺麗に頂上まで見えていた羊蹄山もHS地点からの山頂は雲に隠れる中、メイン集団の猛追によりタイムギャップは徐々に縮まり、残り2kmで先頭とのタイムギャップは5秒。メイン集団はラスト1kmで全ての逃げを吸収し、ひらふ坂600mの登り坂スプリント勝負となった。ゴールスプリントを制したNIPPOのデネグリがステージ優勝、総合2位に浮上した。個人総合時間賞と個人総合山岳賞は増田(宇都宮ブリッツェン)がリーダージャージを守り、個人総合ポイント賞はデネグリがリーダージャージを獲得した。(完走78人)



先頭に立つ各リーダー



スターター
西江 栄二 倶知安町長



第3ステージスタート



羊蹄山を背に6km付近を走るメイン集団



蘭越町港町(68km)付近を走るメイン集団



倶知安町HS 羊蹄山蕎麦店前



沿道からの応援(京極町)



フィニッシュ デネグリ ピエールパオロ
(NIPPO-ヴィーニ ファンティーニ)



くっちゃん羊蹄太鼓保存会「鼓流」の皆さん



歓迎の挨拶
プレゼンター 西江 栄二 倶知安町長



アシスタント
ニセコプロモーションボード 谷 三佐生さん
倶知安町役場職員 花井 多恵さん



個人区間順位 1位 デネグリ ピエールパオロ(NIPPO-ヴィーニ ファンティーニ)
2位 ガルシア アンブリア リカルド(キナンサイクリングチーム)
3位 中根 英登(愛三工業レーシングチーム)



個人区間山岳賞
1位 プライコ アレクサンダー
(ジェリーベリー P/B MAXXIS)



個人総合山岳賞
1位 増田 成幸
(宇都宮ブリッツェン)



個人総合ポイント
1位 デネグリ ピエールパオロ
(NIPPO-ヴィーニ ファンティーニ)



個人総合時間
1位 増田 成幸
(宇都宮ブリッツェン)

Stage 3 競技結果

■個人区間順位

- 1位 デネグリ ピエールパオロ(NIPPO-ヴィーニ ファンティーニ) 4:34'42"
- 2位 ガルシア アンブリア リカルド(キナンサイクリングチーム)
- 3位 中根 英登(愛三工業レーシングチーム)

■個人区間山岳賞順位

- 1位 プライコ アレクサンダー(ジェリーベリー P/B MAXXIS)

■個人総合時間順位

- 1位 増田 成幸(宇都宮ブリッツェン) 7:16'05"
- 2位 デネグリ ピエールパオロ(NIPPO-ヴィーニ ファンティーニ)
- 3位 ガルシア アンブリア リカルド(キナンサイクリングチーム)

■個人総合ポイント順位

- 1位 デネグリ ピエールパオロ(NIPPO-ヴィーニ ファンティーニ)

■個人総合山岳賞順位

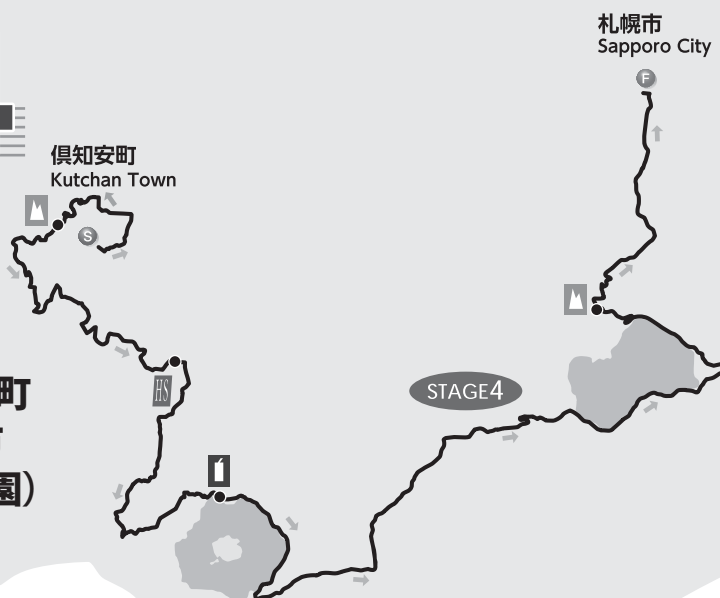
- 1位 増田 成幸(宇都宮ブリッツェン)

第4ステージ Stage 4

9/3 Sat Start 9:30

219km Road Race

倶知安町(ヒラフスキー場前)→蘭越町
→ニセコ町→真狩村→豊浦町→洞爺湖町
→壮瞥町→伊達市→千歳市→苫小牧市
→千歳市→恵庭市→札幌市(真駒内公園)



■レースの概要

午前9時30分定刻スタートするも、ブット(ジェリーベリー)のメカニクトラブルにより予定していた正式スタート地点より3km先での正式スタートとなった。序盤の17.1km地点で一回目の倶知安町KOMをプライコ(ジェリーベリー)が1位通過、続いて増田(宇都宮ブリツェン)、ルバ(ブリヂストン)の順。KOMを終え時速約80kmで五色温泉からニセコ町へと下る。真狩村に入って間もなく新たに5名の逃げが発生、トリビオ(マトリックス)、西菌(ブリヂストン)、木村(シマノ)、吉岡(那須ブラーゼン)、モートン(ジェリーベリー)の5人。真狩村HSでは1位吉岡、2位西菌、3位トリビオ。レースは中盤に入り洞爺湖町から壮瞥町に至るも先頭5人が逃げてメイン集団が追走する展開が続く。壮瞥町でのタイムギャップは11分15秒まで広がり、176km地点の支笏湖温泉付近においても先頭5人は変わらず。二回目の千歳・恵庭境界KOMでは、モートン、西菌、トリビオの順で通過。いよいよ札幌市に入ると先頭とメイン集団とのタイムギャップは1分10秒まで縮まりフィニッシュ地点に向かう。先頭もメイン集団もラスト15km地点を時速約80kmで下り、真駒内公園でのクライマックスを迎える展開となった。真駒内公園に入って先頭5人によるゴールスプリントはモートンが制してステージ優勝。個人総合時間は、増田が27秒のタイム差を守って初優勝し、日本人選手として6年振りのチャンピオン誕生となった。個人総合ポイント賞はデネグリが、個人総合山岳賞は増田が獲得。団体総合時間ではブリヂストンが、U26団体総合時間ではヴェロクラブ メンドリシオが優勝した。



先頭に立つ各リーダー



スターター
西江 栄二 倶知安町長



第4ステージスタート



スタート地点の「ひらふ坂」を下る集団



倶知安町・ニセコ町境界
KOM (17.1km地点)



1位通過 プライコ アレクサンダー
(ジェリーベリー P/B MAXXIS)



ニセコ大橋を渡るメイン集団



沿道からの応援(支笏湖畔)



支笏湖畔を疾走するメイン集団



ゴールスプリント勝負



ステージ優勝 モートン ラ克蘭 ディヴィッド
(ジェリーベリー P/B MAXXIS)



個人総合時間賞を獲得しファンに応える
増田 成幸(宇都宮ブリッツェン)

Stage 4 競技結果

■個人区間順位

- 1位 モートン ラ克蘭 ディヴィッド(ジェリーベリー P/B MAXXIS) 5:33'44"
- 2位 トリビオ ホセ ヴィセンテ(マトリックスパワータグ)
- 3位 西蘭 良太(プリヂストンアンカーサイクリングチーム)

■個人区間山岳賞順位

- 1位 ブライコ アレクサンダー(ジェリーベリー P/B MAXXIS)



プレゼンター
町田 隆敏 札幌市副市長



個人区間順位 1位 モートン ラ克蘭 ディヴィッド(ジェリーベリー P/B MAXXIS)
2位 トリビオ ホセ ヴィセンテ(マトリックスパワータグ)
3位 西蘭 良太(プリヂストンアンカーサイクリングチーム)



個人区間山岳賞
1位 ブライコ アレクサンダー
(ジェリーベリー P/B MAXXIS)

2016 最終表彰式

OVERALL AWARDS CEREMONY

9/3(土) 札幌市南区アパホテル&リゾート札幌特設会場

9月3日(土)午後6時からツール・ド・北海道2016の最終表彰式が、国土交通省、北海道、札幌市などから来賓を迎え、札幌市南区のアパホテル&リゾート札幌特設会場で開催された。

今大会の成績は個人総合時間賞は宇都宮ブリッツェンの増田成幸が、個人総合ポイント賞はNIPPO-ヴィーニファンティーニのデネグリ ピエールパオロ、個人総合山岳賞は、宇都宮ブリッツェンの増田成幸が制し、それぞれチャンピオンジャージを獲得した。団体総合時間賞は、ブリヂストンアンカーサイクリングチームが6年振りに、そして今大会新設したU26団体総合時間賞はスイスのヴェロクラブ メンドリシオが獲得した。

表彰式では団体総合時間賞が対馬一修国土交通省北海道局官房審議官から、U26団体総合時間賞が橋本聖子参議院議員(公益財団法人日本自転車競技連盟会長)から、個人総合山岳賞が町田隆敏札幌市副市長から、個人総合ポイント賞が佐藤哲夫北海道環境生活部文化・スポーツ局長からそれぞれ授与された。

また、最高の栄誉とされる個人総合時間賞と北海道カップは、綿貫民輔大会総裁から増田成幸選手(宇都宮ブリッツェン)に贈られた。



MC



来賓



大会役員



団体総合時間賞 1位
ブリヂストンアンカーサイクリングチーム



U26団体総合時間賞 1位
ヴェロクラブ メンドリシオ



個人総合山岳賞 1位
増田 成幸(宇都宮ブリッツェン)



個人総合ポイント賞 1位
デネグリ ピエールパオロ
(NIPPO-ヴィーニ ファンティーニ)



個人総合時間賞
1位 増田 成幸(宇都宮ブリッツェン)
2位 デネグリ ピエールパオロ(NIPPO-ヴィーニ ファンティーニ)
3位 ガルシア アンブロア リカルド(キナンサイクリングチーム)



ロヒナヴィ ナタボン
チーフコミセール挨拶



個人総合優勝
増田 成幸(宇都宮ブリッツェン)



TOUR DE HOKKAIDO

総合(最終)成績

個人総合時間賞順位

- 1位 増田 成幸(宇都宮ブリッツェン) 12:50'23"
- 2位 デネグリ ビエールバオロ(NIPPO-ヴィーニファンティーニ)
- 3位 ガルシア アンブロー リカルド(キナンサイクリングチーム)
- 4位 中根 英登(愛三工業レーシングチーム)
- 5位 ティエリー シリル(ヴェロクラブ メンドリシオ)
- 6位 吉岡 直哉(那須ブラーゼン)
- 7位 クロフォード ジャイ(キナンサイクリングチーム)
- 8位 ブラデス ベンジャミン(チーム右京)
- 9位 鈴木 謙(宇都宮ブリッツェン)
- 10位 ルバ トマ(プリヂストンアンカーサイクリングチーム)

個人総合ポイント賞順位

- 1位 デネグリ ビエールバオロ(NIPPO-ヴィーニファンティーニ)
- 2位 スタキオティ リカルド(NIPPO-ヴィーニファンティーニ)
- 3位 ティエリー シリル(ヴェロクラブ メンドリシオ)

個人総合山岳賞順位

- 1位 増田 成幸(宇都宮ブリッツェン)
- 2位 プライコ アレクサンダー(ジェリーベリー P/B MAXXIS)
- 3位 ルバ トマ(プリヂストンアンカーサイクリングチーム)

団体総合時間賞順位

- 1位 プリヂストンアンカーサイクリングチーム 38:39'38"
- 2位 ヴェロクラブ メンドリシオ
- 3位 キナンサイクリングチーム

U26団体総合時間賞順位

- 1位 ヴェロクラブ メンドリシオ 38:54'40"
- 2位 シマノレーシングチーム
- 3位 京都産業大学

ツール・ド・北海道ゆかりの方々からのコメント披露



主催者挨拶 綿貫民輔大会総裁
(ツール・ド・北海道協会会長)



第1回大会優勝者
高橋 松吉 氏



第8回大会優勝者
大野 直志 氏



第1回大会審判員
坂本 陽一 氏



第1回大会審判員
小野 盛秀 氏



最終表彰式終了後、同会場において「ツール・ド・北海道30周年記念式典」を開催しました。

式典では、歴代の優勝者などから、ツール・ド・北海道にコメントが寄せられたほか、第1回大会からの懐かしいシーンがビデオ放映され、30年の歴史を振り返るとともに今後の大会の成功を祈念しました。

最後に山本隆幸大会長から、ツール・ド・フランスと全く同じルールで町から町を一筆書きで繋ぐ日本最初のステージレースとして1987年に第1回大会が開催され、爾来30年、チーム・選手はもとより、国、北海道、市町村、警察をはじめとする関係行政機関やスポーツ団体、たくさんの企業などからご支援をいただけて続けてこられたことに対して感謝が述べられ、記念式典を終えました。



主催者謝辞 山本隆幸大会長
(ツール・ド・北海道協会理事長)

2016 最終成績



FINAL RESULTS

個人総合時間賞

Pl.	Num	選手名	チーム名	Total	Behind
1	72	増 田 成 幸	宇都宮ブリッツェン	12:50'23"	00'00"
2	4	デネグリ ビエールバオロ	NIPPO-ヴィーニ ファンティーニ	12:50'50"	00'27"
3	62	ガルシア アンブロー リカルド	キナンサイクリングチーム	12:50'50"	00'27"
4	53	中 根 英 登	愛三工業レーシングチーム	12:50'52"	00'29"
5	165	ティエリー シリル	ヴェロクラブ メンドリシオ	12:50'53"	00'30"
6	121	吉 岡 直 哉	那須ブラーゼン	12:50'53"	00'30"
7	61	クロフォード ジャイ	キナンサイクリングチーム	12:50'56"	00'33"
8	14	ブラデス ベンジャミン	チーム右京	12:50'58"	00'35"
9	73	鈴 木 譲	宇都宮ブリッツェン	12:51'03"	00'40"
10	31	ルバトマ	ブリヂストンアンカーサイクリングチーム	12:51'08"	00'45"
11	161	バディラッティ マッテオ	ヴェロクラブ メンドリシオ	12:51'13"	00'50"
12	32	モニエ ダミアン	ブリヂストンアンカーサイクリングチーム	12:51'14"	00'51"
13	22	フェルナンデス カサソラ アイラン	マトリックスパワータグ	12:54'24"	04'01"
14	42	木 村 圭 佑	シマノレーシングチーム	12:56'50"	06'27"
15	1	スタキオッティ リカルド	NIPPO-ヴィーニ ファンティーニ	12:56'52"	06'29"
16	133	岡 本 集	日本大学	12:56'56"	06'33"
17	21	トリビオ ホセ ヴィセンテ	マトリックスパワータグ	12:56'58"	06'35"
18	192	間 瀬 勇 毅	京都産業大学	12:57'10"	06'47"
19	35	西 蘭 良 太	ブリヂストンアンカーサイクリングチーム	12:57'13"	06'50"
20	51	伊 藤 雅 和	愛三工業レーシングチーム	12:57'26"	07'03"
21	144	モートン ラ克蘭 デイヴィッド	ジェリーベリー P/B MAXXIS	12:57'28"	07'05"
22	172	フィーリー ダラ	SPIN 11 ダブリン	12:57'30"	07'07"
23	12	平 井 栄 一	チーム右京	12:57'37"	07'14"
24	182	中 川 拳	北海道地域選抜	12:57'41"	07'18"
25	162	カイローリ ルカ	ヴェロクラブ メンドリシオ	12:57'43"	07'20"
26	34	鈴 木 龍	ブリヂストンアンカーサイクリングチーム	12:57'48"	07'25"
27	15	アベラストゥリ イザガ ジョン	チーム右京	12:57'51"	07'28"
28	152	ボネロ ダニエル	セントジョージ メリダ サイクリングチーム	12:58'06"	07'43"
29	191	安 田 京 介	京都産業大学	12:58'17"	07'54"
30	23	佐 野 淳 哉	マトリックスパワータグ	12:58'23"	08'00"
31	143	シーハン マイケル	ジェリーベリー P/B MAXXIS	12:58'37"	08'14"
32	5	小 石 祐 馬	NIPPO-ヴィーニ ファンティーニ	12:59'42"	09'19"
33	11	畑 中 勇 介	チーム右京	13:00'09"	09'46"
34	173	マックローリン ローナン	SPIN 11 ダブリン	13:00'10"	09'47"
35	141	ブライコ アレクサンダー	ジェリーベリー P/B MAXXIS	13:00'19"	09'56"
36	33	初 山 翔	ブリヂストンアンカーサイクリングチーム	13:00'52"	10'29"
37	64	野 中 竜 馬	キナンサイクリングチーム	13:01'55"	11'32"
38	41	入 部 正太郎	シマノレーシングチーム	13:02'30"	12'07"
39	24	土 井 雪 広	マトリックスパワータグ	13:02'47"	12'24"
40	101	小 林 和 希	明治大学	13:03'49"	13'26"
41	131	吉 田 悠 人	日本大学	13:03'51"	13'28"
42	85	石 井 駿 平	鹿屋体育大学	13:03'55"	13'32"
43	174	オマホニー ダーラー	SPIN 11 ダブリン	13:04'08"	13'45"
44	91	狩 野 智 也	群馬グリフィンレーシングチーム	13:04'31"	14'08"
45	45	西 村 大 輝	シマノレーシングチーム	13:04'31"	14'08"
46	52	早 川 朋 宏	愛三工業レーシングチーム	13:04'39"	14'16"
47	154	シャープ バトリック	セントジョージ メリダ サイクリングチーム	13:05'17"	14'54"
48	183	佐 野 千 尋	北海道地域選抜	13:05'34"	15'11"
49	125	高 木 三千成	那須ブラーゼン	13:05'39"	15'16"
50	164	リナルディ ニコラス	ヴェロクラブ メンドリシオ	13:05'45"	15'22"
51	153	ウッズ ニコラス	セントジョージ メリダ サイクリングチーム	13:06'08"	15'45"
52	81	徳 田 優	鹿屋体育大学	13:06'49"	16'26"
53	75	堀 孝 明	宇都宮ブリッツェン	13:06'56"	16'33"
54	83	黒 枝 咲 哉	鹿屋体育大学	13:07'03"	16'40"
55	43	小 橋 勇 利	シマノレーシングチーム	13:07'45"	17'22"
56	44	湊 諒	シマノレーシングチーム	13:08'50"	18'27"
57	194	藤 田 俊 輔	京都産業大学	13:09'52"	19'29"
58	84	富 尾 大 地	鹿屋体育大学	13:10'40"	20'17"
59	82	山 本 大 喜	鹿屋体育大学	13:11'04"	20'41"
60	151	ダットン ジェイ	セントジョージ メリダ サイクリングチーム	13:11'34"	21'11"
61	3	コッリ ダニエーレ	NIPPO-ヴィーニ ファンティーニ	13:12'54"	22'31"
62	13	住 吉 宏 太	チーム右京	13:13'18"	22'55"
63	132	大 浦 堯	日本大学	13:13'54"	23'31"
64	185	三 輪 俊 史	北海道地域選抜	13:15'00"	24'37"
65	184	菅 原 勇 人	北海道地域選抜	13:17'03"	26'40"
66	181	熊 坂 和 也	北海道地域選抜	13:17'04"	26'41"
67	95	杉 野 元 基	群馬グリフィンレーシングチーム	13:24'59"	34'36"
68	114	清 水 優	北海道大学	13:25'20"	34'57"

■個人総合ポイント賞

Pl.	Num	選手名	チーム名	Total
1	4	デネグリ ビエールバオロ	NIPPO-ヴィーニ ファンティーニ	39
2	1	スタキオッティ リカルド	NIPPO-ヴィーニ ファンティーニ	32
3	165	ティエリー シリル	ヴェロクラブ メンドリシオ	28
4	144	モートン ラ克蘭 デイヴィッド	ジェリーベリー P/B MAXXIS	25
5	121	吉 岡 直 哉	那須ブラーゼン	22
6	21	トリピオ ホセ ヴィセンテ	マトリックスパワータグ	21
7	62	ガルシア アンプロア リカルド	キナンサイクリングチーム	20
8	53	中 根 英 登	愛三工業レーシングチーム	20
9	15	アベラストゥリ イザガ ジョン	チーム右京	19
10	23	佐 野 淳 哉	マトリックスパワータグ	19
11	35	西 蘭 良 太	ブリヂストンアンカーサイクリングチーム	19
12	73	鈴 木 譲	宇都宮ブリッツェン	17
13	14	ブラデス ベンジャミン	チーム右京	16
14	42	木 村 圭 佑	シマノレーシングチーム	14
15	133	岡 本 隼	日本大学	14
16	72	増 田 成 幸	宇都宮ブリッツェン	12
17	61	クロフォード ジャイ	キナンサイクリングチーム	11
18	34	鈴 木 龍	ブリヂストンアンカーサイクリングチーム	11
19	32	モニエ ダミアン	ブリヂストンアンカーサイクリングチーム	9
20	31	ルバトマ	ブリヂストンアンカーサイクリングチーム	7
21	22	フェルナンデス カサソラ アイラン	マトリックスパワータグ	6
22	81	徳 田 優	鹿屋体育大学	5
23	192	間 瀬 勇 毅	京都産業大学	4
24	161	バディラッティ マッテオ	ヴェロクラブ メンドリシオ	3
25	141	ブライコ アレクサンダー	ジェリーベリー P/B MAXXIS	3
26	52	早 川 朋 宏	愛三工業レーシングチーム	3
27	83	黒 枝 咲 哉	鹿屋体育大学	3
28	172	フィーリー ダラ	SPIN 11 ダブリン	2
29	82	山 本 大 喜	鹿屋体育大学	2
30	11	畑 中 勇 介	チーム右京	1

■個人総合山岳賞

Pl.	Num	選手名	チーム名	Total
1	72	増 田 成 幸	宇都宮ブリッツェン	24
2	141	ブライコ アレクサンダー	ジェリーベリー P/B MAXXIS	20
3	31	ルバトマ	ブリヂストンアンカーサイクリングチーム	17
4	151	ダットン ジェイ	セントジョージ メリダ サイクリングチーム	8
5	172	フィーリー ダラ	SPIN 11 ダブリン	6
6	152	ボネロ ダニエル	セントジョージ メリダ サイクリングチーム	6
7	144	モートン ラ克蘭 デイヴィッド	ジェリーベリー P/B MAXXIS	5
8	62	ガルシア アンプロア リカルド	キナンサイクリングチーム	5
9	14	ブラデス ベンジャミン	チーム右京	4
10	42	木 村 圭 佑	シマノレーシングチーム	4
11	4	デネグリ ビエールバオロ	NIPPO-ヴィーニ ファンティーニ	3
12	35	西 蘭 良 太	ブリヂストンアンカーサイクリングチーム	3
13	64	野 中 竜 馬	キナンサイクリングチーム	3
14	32	モニエ ダミアン	ブリヂストンアンカーサイクリングチーム	2
15	21	トリピオ ホセ ヴィセンテ	マトリックスパワータグ	2
16	82	山 本 大 喜	鹿屋体育大学	2
17	121	吉 岡 直 哉	那須ブラーゼン	1

■団体総合時間賞

Pl.	チーム名	Total	Behind
1	ブリヂストンアンカーサイクリングチーム	38:39'38"	
2	ヴェロクラブ メンドリシオ	38:39'43"	0'05"
3	キナンサイクリングチーム	38:42'17"	2'39"
4	チーム右京	38:45'40"	6'02"
5	NIPPO-ヴィーニ ファンティーニ	38:47'29"	7'51"
6	宇都宮ブリッツェン	38:48'25"	8'47"
7	マトリックスパワータグ	38:49'29"	9'51"
8	愛三工業レーシングチーム	38:52'55"	13'17"
9	シマノレーシングチーム	38:55'56"	16'18"
10	ジェリーベリー P/B MAXXIS	38:56'30"	16'52"
11	SPIN 11 ダブリン	39:01'48"	22'10"
12	京都産業大学	39:04'11"	24'33"
13	セントジョージ メリダ サイクリングチーム	39:09'29"	29'51"
14	北海道地域選抜	39:10'45"	31'07"
15	日本大学	39:14'30"	34'52"
16	鹿屋体育大学	39:17'36"	37'58"

■U26団体総合時間賞

Pl.	チーム名	Total	Behind
1	ヴェロクラブ メンドリシオ	38:54'40"	
2	シマノレーシングチーム	38:59'29"	4'49"
3	京都産業大学	39:04'11"	9'31"
4	日本大学	39:14'30"	19'50"
5	鹿屋体育大学	39:17'36"	22'56"

2016

市民ロードレース

CITIZEN ROAD RACE

9/2 FRI



出走サインする選手

●Aコース 倶知安町(ヒラフスキー場前)→共和町→蘭越町→ニセコ町→倶知安町(ヒラフスキー場前)…… 124km

●Bコース 倶知安町(ヒラフスキー場前)→共和町→蘭越町→ニセコ町→倶知安町(ヒラフスキー場前)…… 92km



開会



開会式に臨む選手たち



歓迎の挨拶
西江 栄二 倶知安町長



主催者挨拶
山本 隆幸 大会長



選手宣誓 ベン・カー選手
受け 山本 隆幸大会長



スターター
西江 栄二 倶知安町長



共和町を走る選手

●Cコース 蘭越町(小樽開建水防資材庫前)→ニセコ町→倶知安町(ヒラフスキー場前)…… 44km



主催者挨拶 高松 泰
ツール・ド・北海道協会常務理事



歓迎の挨拶 首藤 一幸
蘭越町教育委員会教育長



選手宣誓 渡部 岳洋 選手



フィニッシュ (倶知安町ヒラフスキー場前)



表彰 (Aコース)



表彰 (Bコース)



表彰 (Cコース)



表彰 (一般女子の部)



表彰 (山岳ロイズ賞)

成績一覧

コース別成績

	順位	ナンバー	氏名	都道府県	タイム	順位	ナンバー	氏名	都道府県	タイム	順位	ナンバー	氏名	都道府県	タイム
● Aコース	1	53	中尾 峻	神奈川県	3:43:37	2	12	今井 基裕	埼玉県	3:43:56	3	66	前田 充貴	京都府	3:45:45
● Bコース	1	379	松浦 耕介	京都府	3:02:02	2	403	甲高 拓夢	岩手県	3:03:38	3	394	大羽 将司	群馬県	3:05:48
● Cコース	1	1402	古林 一夢	石川県	1:27:43	2	735	森田 琢也	北海道	1:29:08	3	1408	渡邊 諒馬	北海道	1:30:49

クラス別成績

	順位	ナンバー	氏名	都道府県	タイム	順位	ナンバー	氏名	都道府県	タイム	順位	ナンバー	氏名	都道府県	タイム
● J C F 登録	1	53	中尾 峻	神奈川県	3:43:37	2	12	今井 基裕	埼玉県	3:43:56	3	66	前田 充貴	京都府	3:45:45
● 上級者	1	252	池辺 刀那	北海道	3:51:26	2	249	西田 晃平	北海道	3:53:20	3	237	石村 展通	北海道	3:54:33
● 中級者	1	379	松浦 耕介	京都府	3:02:02	2	403	甲高 拓夢	岩手県	3:03:38	3	394	大羽 将司	群馬県	3:05:48
● 初級者 40歳未満	1	559	長沼 拳	北海道	3:10:15	2	543	松田 浩輔	北海道	3:13:37	3	540	白井 一雅	北海道	3:17:09
● 初級者 55歳未満	1	735	森田 琢也	北海道	1:29:08	2	704	森田 啓介	北海道	1:33:31	3	738	小川 宣幸	北海道	1:33:41
● 初級者 55歳以上	1	920	中川 康博	北海道	1:32:59	2	924	濱田 力範	北海道	1:33:00	3	917	高松 敦志	北海道	1:33:22
● 一般女子	1	1007	米田 和美	北海道	1:34:17	2	1005	角尾 恵	東京都	1:39:12	3	1002	芝田 祥子	北海道	1:46:09
● 高校生男子	1	1104	小堀 敢太	北海道	3:10:14	2	1115	河佐 真義	北海道	3:10:52	3	1101	渡邊 太悟	北海道	3:11:13
● 中学生男子	1	1402	古林 一夢	石川県	1:27:43	2	1408	渡邊 諒馬	北海道	1:30:49	3	1405	三村 光理	北海道	1:36:23
● 中学生女子	1	1083	渡部 春雅	神奈川県	1:32:29										

山岳ロイズ賞

	順位	ナンバー	氏名	都道府県	順位	ナンバー	氏名	都道府県	順位	ナンバー	氏名	都道府県
● Aコース	1	12	今井 基裕	埼玉県	2	43	佐藤 秀和	埼玉県	3	23	小山田 智也	北海道
● Bコース	1	379	松浦 耕介	京都府	2	1115	河佐 真義	北海道	3	391	片岡 悠真	宮城県

ツール・ド・北海道2016 報道・広報-1

TOUR DE HOKKAIDO 2016 9.1THU -3SAT

第30回 ツール・ド・北海道

ステージレース 総距離約511km
 第1ステージ(札幌市街コース 14km) 9月1日(木) 札幌市街コース
 第2ステージ(札幌市街コース 111km) 9月2日(金) 札幌市街コース
 第3ステージ(札幌市街コース 180km) 9月3日(土) 札幌市街コース
 第4ステージ(札幌市街コース 219km) 9月3日(土) 札幌市街コース

市民ロードレース
 9月2日(金) A2-3 (124km) 札幌市街コース
 B2-3 (124km) 札幌市街コース
 C2-3 (124km) 札幌市街コース

【お問い合わせ】公益財団法人ツール・北海道協会
 011-222-5922 <http://www.tour-de-hokkaido.or.jp>

NIPPO ROYCE SUBARU

RING!RING! プロジェクト この大会は、競輪の補助を受けて実施します。
<http://ringring-keirin.jp>

●ポスター

TOUR DE HOKKAIDO 2016 9.1THU -3SAT

第30回 ツール・ド・北海道

ステージレース 総距離約511km
 第1ステージ(札幌市街コース 14km) 9月1日(木) 札幌市街コース
 第2ステージ(札幌市街コース 111km) 9月2日(金) 札幌市街コース
 第3ステージ(札幌市街コース 180km) 9月3日(土) 札幌市街コース
 第4ステージ(札幌市街コース 219km) 9月3日(土) 札幌市街コース

市民ロードレース
 9月2日(金) A2-3 (124km) 札幌市街コース
 B2-3 (124km) 札幌市街コース
 C2-3 (124km) 札幌市街コース

【お問い合わせ】公益財団法人ツール・北海道協会
 011-222-5922 <http://www.tour-de-hokkaido.or.jp>

ガイドブック GUIDE BOOK

RING!RING! プロジェクト この大会は、競輪の補助を受けて実施します。
<http://ringring-keirin.jp>

●ガイドブック

TOUR DE HOKKAIDO UCI ASIA TOUR

KEIRIN.JP **RING!RING! プロジェクト** **スポーツランド** **BIG**

私たちはスポーツ振興くじ 助成を受けています。

最新情報 ツール・ド・北海道2016 ツール・ド・北海道の歴史 スポンサー

ファンクラブ 協会について 事業報告 各賞 リンク 競輪補助事業

TOUR DE HOKKAIDO 2016

2016/8/31
レース前日のコミュニケ(選手リスト、タイムトライアルスタートリストなど)

2016/8/29
ツール・ド・北海道2016の出場が確定しているのは20チームです(8月29日現在)

2016/8/28
スマホアプリ「スマココ」でレース先頭集団の位置がわかる! ツール・ド・北海道レースや自転車なにかの位置をリアルタイムで確認できる「スマココ」をぜひご利用ください

2016/8/26
市民ロードレースプログラムができました

2016/8/10
ツール・ド・北海道2016ガイドブックができました

2016/8/10
ツール・ド・北海道2016テクニカルガイドができました

ツール・ド・北海道2016 **レース速報**
Tour de Hokkaido 2016 News Flash of Race

リザルト **市民リザルト**
Results Results of Citizen Race

いいね! 5490人がいいね! しています。Facebookに登録して、友達の見えよう。

レースライブ(facebook) レースライブ(Twitter)

smart move **スマココ**

NIPPO ROYCE SUBARU

●HP トップページ

ツール・ド・北海道2016 報道・広報-2

コース情報

1/2 ページ





Home	コース情報	交通規制	チーム	市民レース概要	スポンサー
レース速報	リザルト	市民リザルト	写真	ガイドブック	事業報告

■コース情報

STAGE 1 STAGE 2 STAGE 3 STAGE 4







ツール・ド・北海道 2016 日程表

日付	ステージ	スタート	時間	フィニッシュ	予想時間	距離	表彰式
9月1日(木)	出発式	札幌市 豊平川河川敷地特設会場	8:00	—	—	—	—
9月1日(木)	第1ステージ	札幌市 豊平川河川敷地	8:30	札幌市 豊平川河川敷地	10:10~10:15	1.0km	16:00
9月1日(木)	第2ステージ	札幌市 アパホテル&リゾート札幌	13:00	倶知安町 公民館手前	15:46~15:55	111Km	16:15
9月2日(金)	第3ステージ	倶知安町 ヒラフスキー場前	9:30	倶知安町 ヒラフスキー場前	14:05~14:20	180Km	14:20
9月3日(土)	第4ステージ	倶知安町 ヒラフスキー場前	9:30	札幌市 真駒内公園	15:04~15:23	219km	18:00
9月3日(土)	最終表彰式	札幌市 アパホテル&リゾート札幌 特設会場	—	—	—	—	18:20

ツール・ド・北海道2016コース図 (GoogleMap)

ツール・ド・北海道2016コース図 (全体)

ツール・ド・北海道

1987年10月に日本最初のステージレースとしてツール・ド・北海道大会が開催されてから今回で30回目を迎えました。第11回大会からは、国際自転車競技連合(UCI)の公認大会として承認され、国際大会としても20回目を迎え、いまや国内有数のステージレースになっております。ツール・ド・北海道には、海外からも多数のチームが参加を希望するなど定評ある大会となっており、いわば「ツール・ド・フランス」の日本版でもあります。

競技は1チーム5人のチーム成績と個人成績の両方を争うステージレースであり、海外、国内の各チームの選手は、団体優勝を狙うのは勿論、チームのエースに個人総合時間賞を獲得させようと、様々な作戦レースを展開します。また、多くのサイクリストが参加する市民ロードレースも同時開催し、地域の活性化を図るとともにこの大会を盛り上げています。

大会概要と日程

ツール・ド・北海道2016は、道央地域において9月1日(木)から3日(土)までの3日間で4ステージを開催します。初日の9月1日(木)は、札幌市豊平区の「豊平川河川敷地特設会場(南七条大橋付近)」において出発式を行った後、第1ステージの個人タイムトライアルを行います。また、同日午後からは、第2ステージのロードレースを行います。札幌市南区の「アパホテル&リゾート札幌前」からスタートし、定山溪、小樽市朝里川温泉街、赤井川村を経て倶知安町(公民館手前)でフィニッシュする111kmのコースです。

翌日、9月2日(金)の第3ステージは、倶知安町(ヒラフスキー場前)からスタートし、共和町、蘭越町、ニセコ町、京極町、真狩村などを結ぶスタート地点の倶知安町(ヒラフスキー場前)に戻ってフィニッシュする180kmのコースです。

そして最終日、9月3日(土)の第4ステージは、倶知安町(ヒラフスキー場前)からスタートして蘭越町、真狩村、洞爺湖町、千歳市、恵庭市などを結ぶ札幌市南区の「真駒内公園(セキスイハイムスタジアム前)」でフィニッシュする219kmのロードレースを行い、全ての日程を終えます。国内では唯一、大自然の中を町から町へ公道を使用して走る本格的な自転車ステージレースであり、3日間の総走行距離は511kmに及びます。

ステージレース

- 開催期間 9月1日(木)から3日(土)までの3日間
- 開始式 9月1日(木) 8時00分~8時15分 札幌市豊平区「豊平川河川敷地特設会場(南七条大橋付近)」
- 各ステージの日程
 - 第1ステージ(個人タイムトライアル) 9月1日(木)(1km)
 - 第2ステージ(ロードレース) 9月1日(木)(111km)
 - 札幌市南区(S:アパホテル&リゾート札幌前)~小樽市~赤井川村~倶知安町(F:倶知安町公民館手前)
 - 第3ステージ(ロードレース) 9月2日(金)(180km)
 - 倶知安町(S:ヒラフスキー場前)~共和町~蘭越町~ニセコ町~倶知安町~京極町~真狩村~真狩村~ニセコ町~倶知安町(F:ヒラフスキー場前)
 - 第4ステージ(ロードレース) 9月3日(土)(219km)
 - 倶知安町(S:ヒラフスキー場前)~ニセコ町~蘭越町~真狩村~洞爺湖町~千歳市~恵庭市~千歳市~苫小牧市~恵庭市~札幌市南区(F:真駒内公園セキスイハイムスタジアム前)
- 出場予定チーム 海外及び国内から合計20チーム、100名の選手の出場を予定しています。
- 表彰式 第1、第2ステージは第2ステージ終了後、倶知安町公民館前特設会場において、第3ステージは倶知安町ヒラフスキー場前特設会場においてフィニッシュ後に行います。第4ステージは最終表彰式実施の日時、場所において、最終表彰式に先立ち行います。
- 最終表彰式 9月3日(土) 18時00分~19時30分 札幌市南区「アパホテル&リゾート札幌特設会場」

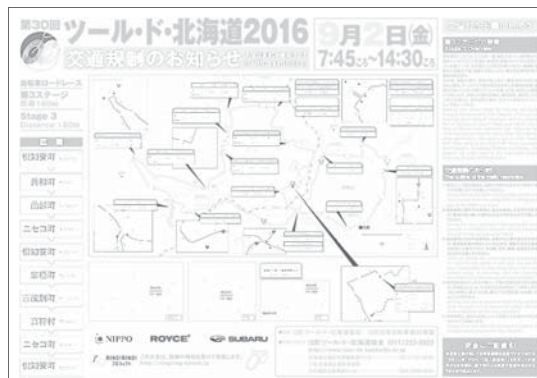




●HP コース情報



●交通規制広告-1



●交通規制広告-2



●交通規制広告-3



5/10 2016実行委員会開催

スポーツ報知

2016年(平成28年)5月11日(水曜日)

道大学に出場枠

ツール・ド・北海道

国内最大級の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道」の実行委員会は10日、札幌市内で2016年大会の概要を発表した。今年で30回目となる大会は、道央が舞台。国内外から20チームが参加し、9月1日から3日まで札幌、倶知安、ニセコなど計17市町村を駆けめぐらる。

初日の第1ステージは札幌市内で111キロのタイムトライアルを行い、続く第2ステージでロードレースに突入。3日間の総走行距離は511キロとなる。実行委員会によると、今年は道内の大学にも出場枠を与え、北大十道科学大の連合チームが出場予定。また、第3ステージが行われる2日は、市民ロードレースも開催される(6月から参加者募集)。

5/11 スポーツ報知

北海道新聞

2016年(平成28年)5月11日(水曜日)

ツール・ド・北海道2016 コース図



道央圏511キロ疾走 ツール・ド・北海道

国内有数の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道2016」(ツール・ド・北海道2016)が、日本自転車競技連盟主催北海道新聞社特別協力の日程とコースが10日、発表された。9月1日から3日間、国内外の20チームが札幌市や後志管内倶知安町など道央圏の17市町村を舞台に計511キロを走る。

30回の節目を迎える今大会は第1ステージでタイムトライアルが5年ぶりに復活。地元元右選手育成を目的に北

9月1日開幕

大会日程とコース

▽9月1日 第1ステージ タイムトライアル111キロ(札幌市豊平川河川敷、第2ステージ111キロ(札幌市小樽市-倶知安町)▽2日 第3ステージ180キロ(倶知安町発着)▽3日 第4ステージ219キロ(倶知安町-胆振管内洞爺湖町-札幌市) 大と道科大が連戦チームで参戦する。2日からは市民ロードレースが倶知安町周辺で行われる。要項は今日下旬に同協会のホームページで発表し、6月1日から募集する。問い合わせは同協会011-222-5000。

5/11 北海道新聞

道新スポーツ

2016年(平成28年)5月11日(水曜日)

9月1日 第30回ツール・ド・北海道

今年で30回目を迎える自転車ロードレース「ツール・ド・北海道2016」(9月1-3日)の実施要項が10日、発表された。節目の今回は全ステージ道央地域で開催。国内外の20チームが、札幌や倶知安など17市町村にまたがる総走行距離511キロを、4ステージに分けて3日間の日程で走り抜ける。今回から若手育成のため、道内学生連合の参加が決定。自転車部と同好会がある北大と道科学大の2大学から選抜される。さらに26歳以下の団体総合時間を競う賞の新設も決まった。

道央エリア511キロで熱戦

出発後の第1ステージは、札幌・豊平川河川敷で111キロのタイムトライアルが5年ぶりに復活。午後から第2ステージ111キロのロードレースがスタートし、小樽、赤井川を抜けて倶知安へ。第3ステージは羊蹄山を回り、第4ステージは洞爺湖を巡って219キロを走り、札幌・真駒内公園でフィニッシュする。

5/11 道新スポーツ

特集

2016年(平成28年)8月31日(水曜日)

北海道新聞

第3報知新聞社

出場チーム

- 社会人=9チーム
愛三工業レーシング、ブリヂストンアンカー、群馬グリーンレーシング、キナン、マトリックスパワー、那覇ブルー、宇都宮ブリッツェン
- 海外招待=5チーム
イタリア、米国、オーストラリア、スイス、アイルランド
- 大学=5チーム
京産大、鹿屋体大、日大、明大、北大
- 地域選抜=1チーム
北海道選抜

個人・団体賞

「U26団体総合時間」新設

個人と団体の5つのタイトルを争う。個人は総合時間、総合ポイント、総合山岳の3つ、団体は総合時間と今大会で新設されたU26団体総合時間。大会最高栄誉とされるのは個人総合時間での優勝者に「北海道カッパ」が授けられる。各ステージで終った時点の個人部門首位の選手はジャージーの着用が義務づけられている。各部門の詳細は次の通り。

【個人】

◇総合時間賞

(リーダージャージー) 各ステージ完走タイムの合計から、ペナルティやボーナスを加減した時間を競う。ボーナスは各ステージの途中に設けられた「ホットスポット」と呼ばれる関門の順上位3人にそれぞれ与えられる。

◇総合ポイント賞 (同=青) ホットスポットの通過順位による得点と、各ステージのゴール順位による得点の合計点を競う。

◇総合山岳賞 (同=赤) 各ステージの峠や山岳の頂上付近に設けられた山岳ポイント(関門)の通過順位に応じて与えられる得点の合計を競う。

【団体】

◇総合時間賞

各ステージのチーム上位3人の完走タイムを合計して競う。

◇U26団体総合時間賞

各ステージのチームU26以下の上位3人の完走タイムを合計して競う。

ツール・ド・北海道協会は大会期間中、ホームページで出場チームやコースを紹介しているほか、成績を速報する。アドレスは<http://www.tour-de-hokkaido.jp>

選手

ガルシアら注目 ■国内勢は五輪組に期待

ツール・ド・北海道は、選手手続が完了した。国内勢は五輪組に期待。ガルシアら注目。ツール・ド・北海道は、選手手続が完了した。国内勢は五輪組に期待。ガルシアら注目。ツール・ド・北海道は、選手手続が完了した。国内勢は五輪組に期待。ガルシアら注目。



ツール・ド・北海道あす開幕

国内最大級のサイクリングイベント「ツール・ド・北海道」は、8月31日(水)から9月1日(木)の2日間、道庁管内の各地を巡る。30日(火)の夜は、道庁管内の各地を巡る。30日(火)の夜は、道庁管内の各地を巡る。30日(火)の夜は、道庁管内の各地を巡る。

ツール・ド・北海道協会、日本自転車競技連盟主催、北海道新聞特別協力

レースの魅力

決して終わらないレースの魅力。ツール・ド・北海道は、国内最大級のサイクリングイベント。レースの魅力は、選手たちの力と、観客の熱気。ツール・ド・北海道は、国内最大級のサイクリングイベント。レースの魅力は、選手たちの力と、観客の熱気。

道央511キロ 風になる



最終日、大会史上最長の219キロ。ツール・ド・北海道2016コース図。最終日、大会史上最長の219キロ。ツール・ド・北海道2016コース図。最終日、大会史上最長の219キロ。ツール・ド・北海道2016コース図。

最終日、大会史上最長の219キロ。ツール・ド・北海道2016コース図。最終日、大会史上最長の219キロ。ツール・ド・北海道2016コース図。最終日、大会史上最長の219キロ。ツール・ド・北海道2016コース図。

最終日、大会史上最長の219キロ。ツール・ド・北海道2016コース図。最終日、大会史上最長の219キロ。ツール・ド・北海道2016コース図。最終日、大会史上最長の219キロ。ツール・ド・北海道2016コース図。

8/31 北海道新聞

TOUR DE HOKKAIDO 2016

第30回 ツール・ド・北海道 2016

9.1 THU - 3 SAT

ステージレース

ステージ1: 札幌市街地コース (124km)
ステージ2: 支庁間コース (92km)
ステージ3: 支庁間コース (92km)
ステージ4: 支庁間コース (44km)

ステージレース総走行距離 - 511km

交通規制のお知らせ

9/1(木) 9/2(金) 9/3(土)

9/1(木) 9/2(金) 9/3(土)

8/31 北海道新聞

TOUR DE HOKKAIDO 2016

第30回 ツール・ド・北海道 2016

9.1 THU - 3 SAT

ステージレース

ステージ1: 札幌市街地コース (124km)
ステージ2: 支庁間コース (92km)
ステージ3: 支庁間コース (92km)
ステージ4: 支庁間コース (44km)

ステージレース総走行距離 - 511km

交通規制のお知らせ

9/1(木) 9/2(金) 9/3(土)

9/1(木) 9/2(金) 9/3(土)

8/31 読売新聞

ツール・ド・北海道2016 報道・広報-5

TOUR DE HOKKAIDO 2016

9.1 THU - 3 SAT

ステージレース
ステージ1 札幌
ステージ2 札幌
ステージ3 札幌
ステージ4 札幌

ステージレース総走行距離-511km

第30回 ツール・ド・北海道 2016 交通規制のお知らせ

9/1(木) 9/2(金) 9/3(土)

9/1(木) 9/2(金) 9/3(土) 各ステージの交通規制についてお知らせします。

9/1(木) 第1ステージ 札幌市内を走る51kmのステージです。札幌市内の主要道路は、午前7時から午後5時までの間、片側1車線に規制されます。

9/2(金) 第2ステージ 札幌市内を走る51kmのステージです。札幌市内の主要道路は、午前7時から午後5時までの間、片側1車線に規制されます。

9/3(土) 第3ステージ 札幌市内を走る51kmのステージです。札幌市内の主要道路は、午前7時から午後5時までの間、片側1車線に規制されます。

8/31 朝日新聞

建設行政新聞 2016年(平成28年)8月31日(水曜日)

ツール・ド・北海道2016

秋の後志で熱戦！

9月1日から3日間

ツール・ド・北海道2016は、今年で30回目を迎えます。札幌市内を走る51kmのステージは、毎年注目を集めています。

9月1日(木) 第1ステージ 札幌市内を走る51kmのステージです。札幌市内の主要道路は、午前7時から午後5時までの間、片側1車線に規制されます。

9月2日(金) 第2ステージ 札幌市内を走る51kmのステージです。札幌市内の主要道路は、午前7時から午後5時までの間、片側1車線に規制されます。

9月3日(土) 第3ステージ 札幌市内を走る51kmのステージです。札幌市内の主要道路は、午前7時から午後5時までの間、片側1車線に規制されます。

8/31 建設行政新聞

ツール・ド・北海道2016

風になる

ツール・ド・北海道開幕

30回の歴史を誇るツール・ド・北海道は、今年も札幌市内を走る51kmのステージで開幕します。

9/1 北海道新聞(夕刊)

9/1 北海道新聞(夕刊)

スポーツニッポン 2016年(平成28年)9月2日(金曜日)

◆開幕 国内最大級の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道」が札幌市内で開幕。あす3日までの期間、中、北海道内の17市町村、計約511kmを走り抜ける。

9/2 スポーツニッポン

2016年(平成28年)9月2日 金曜日 享月 日 美行 風行

いざ 511km 駆け抜けろ

ツール・ド・北海道 開幕

国内最大規模の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道」が1日、札幌市内で開幕した。30回目の今回は、海外から20チームが参加。3日にかけて道央、道南、道北、道庁の計511kmを駆け抜け、9/3にゴールする。

9/2 朝日新聞

9/2 朝日新聞

2016年(平成28年)9月2日(金曜日)

北海道新聞

増田、個人総合首位

第1日

自転車

ツール・ド・北海道2016(1日・札幌市)後志管内倶知安町 国内最大級の自転車ロードレース

第1日は、札幌市内で1*個人タイムトライアルの第1ステージと、札幌市と後志管内倶知安町を結ぶ108・1*の第2ステージを行った。

第1ステージは、ジョン・アベラストリ(スペイン、チーム右京)が優勝。第2ステージは増田成幸(宇都宮ブリッツェン)が

制し、個人総合時間でも首位に立った。団体総合は宇都宮ブリッツェンが首位に立った。

第2ステージは朝里峠(道道小樽定山溪線)を越え、残り57*の地点で増田を含めた4選手が集団から抜け出し、毛無峠(国道393号)を1位通過した増田が残り約50*を逃げ切った。

2日は倶知安町ヒラフスキー場前発着で、今大会最大の難所、新見峠(道道岩内蘭越線)がそびえる第3

監督のゲキ勇気百倍

得意の山登りで力を見せた。

2日は倶知安町ヒラフスキー場前発着で、今大会最大の難所、新見峠(道道岩内蘭越線)がそびえる第3

増田は再びペダルを力強く踏みしめた。残り2*の地点では後続集団に40秒差にまで詰め寄られたが、チームメートの鈴木が集団を抑え、増田のトップを守り抜いた。

個人総合山岳賞では2011年に2位、昨年は4位と実績はあるが、ステージを制したのは初めて。「勝てたのは信頼する仲間たちのおかげ」。チームきつてのクライマーが緑色のリーダーシャジャに誇らしげに袖を通した。(若林彩)



得意の山登りで第2ステージを制し、個人総合でも首位に立った増田(中本邦雄撮影)

朝里峠を1位通過して、残り57*。集団から抜け出した4人によるトップ争いの中、増田は飛び出す機会を狙っていた。「他の3選手が争っている。その隙をつく」。毛無峠の上り坂をトップスピードで駆け上がる、後続に2分30秒以上の大差をつけて2度目の山岳ポイント通過した。

だが、108・1*のレースは長丁場。峠を下り、残り40*の地点で両脚をつり、「後続集団に戻ろうか」と弱気になった。支えたのはチームカーから声を掛け

9/2 北海道新聞

2016年(平成28年)9月2日(金)

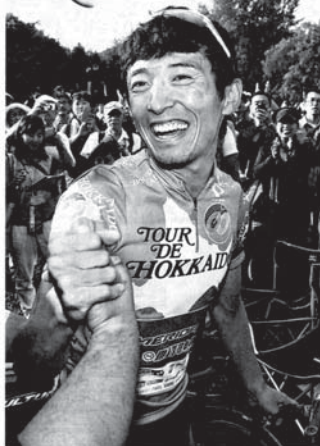
毎日新聞

ツール・ド・北海道開幕

17市町村、51*走る

国内最大級の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道」が1日、札幌市での第1ステージを皮切りに開幕した。3日までの期間中、道内17市町村、計約51*を走り抜ける。30回目を迎えた今年の第1ステージは1987年の第1回大会と同様、札幌市豊平区の豊平川河川敷で1*の個人タイムトライアルを実施した。大会にはイタリアやスイスなど海外勢5チーム、京都産業大や鹿屋体育大など5大学を含む国内15チームの約100人が参加。レースは4ステージで、羊蹄山の前もつ洞爺湖畔を疾走、ゴールの札幌市南区の真駒内公園を目指す。3日の第4ステージは大会史上最長の219*で、過酷なレースが予想される。

9/2 毎日新聞



個人総合で初優勝した増田（中本翔撮影）

増田個人総合V
日本人6年ぶり

自転車

ツル・ド・北海道
016(3日)後志支庁
知安ヒラフスキー場前
札幌市東区(内蔵) 最終
個人総合ポイント賞は江
尾俊一、ブリヂストン
力が駒目まで前の位置
を占めていた。先頭
を走り抜けたに8分秒
差をつけて逆転した。
と集団の差は最大十分
以上になった。逃げ切
りしたが、99.7地点か
ら再び坂で後に縮ま
る。最後は、増田を含め
た選手が先に34分秒

攻め果敢山岳も制す

ブリッツェン)は同チーム19位ながら、12月20日29日で日本から1965年冬の個人総合優勝を果たした。増田選手は総合5位の増田選手を表彰した。団体は最初の山岳イブを越

ド・モントン(オーストラリア、ジュゼッペ)が制し、西蔵山(アペス)が宇都ブリッツェンきてリザードが1位に勝つ。このリザードが2位を越

濃霧の峠、山の山を越え、青の山でゴールした。ブリッツェンきて、そのリザードが1位に勝つ。このリザードが2位を越

最終ステージは、所蔵山が増が勝つ。そのリザードが1位に勝つ。このリザードが2位を越

「山道制するの自慢。他チームがタタタと手を掛ける中、最初の山

で勝ち取った庄巻のレー
だった。

増田にとって、ツール
ド・北海道は、10年前に
ロデビュした初の国際
会。「足かけ10年、何と

勢最高の3位に入った。

▼西園、怪談主かノステ
ライコ（アメリカ、ジェリーベリ
ー）20（ルバ（フランス、プリチ
ストアンカー）17

出成時間
アイア
(ス)イ
秒

イルパオロ・デネグリ(イタリア、
NippOウィーニファンデー
(二)39(二)スタキオティ(イタリア、
NippOウィーニファンデー
(二)32(二)ディエリー(スイス、ウ
エロクラブメンドリシオ) 28

▽同個人総合山登賞 ①増田成

▽団体総合最終成績 ①アリチ
ストンアンカー 38時間39分38秒
②ヴェロクラメンドリシオ ③スイ
ス 38時間39分43秒 ④キナ 38時
間42分17秒 ⑤北海道地域連合 38時
間42分17秒

目刊スポーツ

2016年(平成28年)9月4日 日曜日

◎自転車 (3日) 俱ル・ド・北海
道最近 (3日) スキ・燭前・操・貞駒 (公園)
第4ステージの1・3・5・7
①デービッド モーリー (愛州)
②トリビオ スペイ、マトリックス
スワフ、タチ 5時間33分44秒
③西園 (リナ) スト・アン・カリー
5時間35分44秒
④個人総合最終成績
(宇都宮リッツェン) 12時間50
分3秒 ⑤テグバ (イタリヤ、N) 1
2時間50分11秒 ⑥ガルシアス、ス
12時間50分50秒
⑦ベビー、キエー 12時間50分50秒
⑧この成績は、マスターズの成績
に劣る。

⑨団体総合最終成績
①アン・ク 38時間39分38秒 ②ウ
ニコラ・ブナドリ 39分02秒 (スイス)
③エロク・ブナドリ 39分02秒 (スイス)
38時間39分38秒 ④キエー 38時間42
分17秒

9/4 日刊スポーツ

道新スポーツ

2016年(平成28年)9月4日(日曜日)

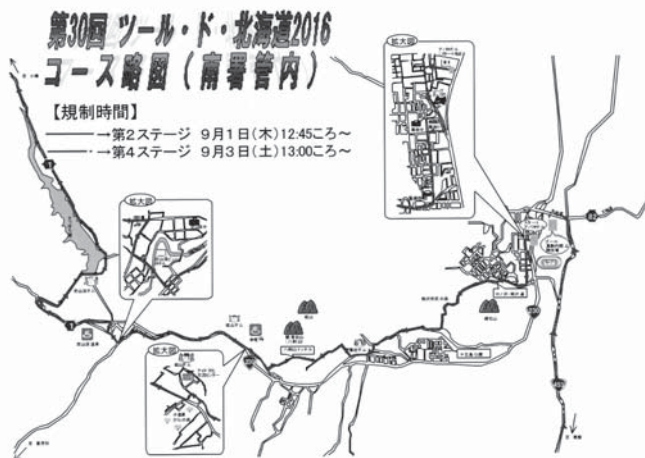
▽個人総合最終成績 ①

(1・3位は着差あり)

① 13分44秒
② 13分44秒
③ 13分44秒
④ 13分44秒
⑤ 13分44秒
⑥ 13分44秒
⑦ 13分44秒
⑧ 13分44秒
⑨ 13分44秒
⑩ 13分44秒
⑪ 13分44秒
⑫ 13分44秒
⑬ 13分44秒
⑭ 13分44秒
⑮ 13分44秒
⑯ 13分44秒
⑰ 13分44秒
⑱ 13分44秒
⑲ 13分44秒
⑳ 13分44秒
㉑ 13分44秒
㉒ 13分44秒
㉓ 13分44秒
㉔ 13分44秒
㉕ 13分44秒
㉖ 13分44秒
㉗ 13分44秒
㉘ 13分44秒
㉙ 13分44秒
㉚ 13分44秒
㉛ 13分44秒
㉜ 13分44秒
㉝ 13分44秒
㉞ 13分44秒
㉟ 13分44秒
㊱ 13分44秒
㊲ 13分44秒
㊳ 13分44秒
㊴ 13分44秒
㊵ 13分44秒
㊶ 13分44秒
㊷ 13分44秒
㊸ 13分44秒
㊹ 13分44秒
㊺ 13分44秒
㊻ 13分44秒
㊼ 13分44秒
㊽ 13分44秒
㊾ 13分44秒
㊿ 13分44秒

9/4 道新スポーツ

9/4 北海道新聞



●札幌南警察署 HP掲載



〒064-8601
札幌市
交通一課

交通安全だより

平成28年
No.12
南警察署
交通一課
TEL 552-0110

「第30回 ツール・ド・北海道2016」開催に伴う交通規制のお知らせ

9月1日(水)～3日(土)までの間、「ツール・ド・北海道2016」が開催されます。
 今年は南署管内の一部がロードレースのコースになっており、

9月1日(水)	12:45～14:20ころまで
9月3日(土)	14:30～15:40ころまで

の間、コース及び周辺道路にて交通規制が実施されます。
 南署管内のコースは、別紙のとおりです。

 **コース周辺道路の通行はなるべく避けてください**

競技コース周辺は交通混雑が予想されます。
 車を運転する場合は、なるべく周辺道路を迂回して通行をお願いいたします。

 **五輪週の一部が全面通行止めになります**

コースの対向車線側は基本的に通行可能ですが、9月3日の五輪週は国道453号の交差点から国道230号イオン駐車場まで全面通行止めとなり、交通規制実施中は両車線とも通行できません。

 **レース中の自転車には近づかないで！**

レースに参加している自転車は、車間しばしば変わりない速度で走行しています。
 衝突すると重大事故に繋がる可能性もあります。
 付近を通行する際は、コースに近づかず、現場の警察官や警備員の指示に従ってください。

ご多忙の中ご迷惑をおかけしますが、交通事故防止・安全のための規制となりますので、ご協力をお願いいたします

南警察署 交通一課

●札幌南警察署 HP掲載

ツール・ド・北海道2016 報道・広報-9

～市町村広報誌等の広報-①～

ツール・ド・北海道に伴う交通規制

日①9月1日(木)12時45分～13時45分、②3日(土)14時40分～15時30分。

経路①はアパホテル＆リゾート・藻岩小学校前・藻南自動車学校前・白川・新御料橋・八剣山トンネル・小金湯温泉・国道230号交差点・道道1号線、②は国道453号(支笏湖から)・石山陸橋・エドウィン・ダン記念公園前交差点・国道453号・五輪通交差点・道道82号・真駒内公園。

ツール・ド・北海道協会

●札幌市 広報さっぽろ8月号掲載

ツール・ド・北海道2016	
9月1日(木)～3日(土)にツール・ド・北海道2016が開催されます。9月1日(木)の第2ステージでは小樽市域も一部コースとなっており、交通規制が行われますので、ご注意ください。一流選手の迫力あるレースを間近で観戦することができます。治道からの応援をお待ちしています。	
☑詳細 生涯スポーツ課 ☎内線318、☎06608	
通過時間	ところ
午後2時2分ころ	道道1号(札幌・小樽境界)
午後2時18分ころ	道道1号(朝里クラッセホテル前)
午後2時25分ころ	望洋台中学校前

●小樽市 広報おたる8月号掲載

小樽市 : ツール・ド・北海道2016

1/2 ページ

★小樽市へようこそ
Welcome to Otaru City.

ホーム 市民の皆さんへ 事業者の皆さんへ 観光客の皆さんへ 市政情報・統計・計画 アクセス お問い合わせ

トップ / 市民の皆さんへ / 生涯学習・スポーツ・文化 / スポーツ / スポーツイベント / ツール・ド・北海道2016

ツール・ド・北海道2016開催のお知らせ

国際自転車競技連合(UCI)公認の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道」が9月1日札幌市で開催し、3日間で通算17市町村511kmを走破します。本大会は30回目の節目を迎え、海外及び国内から合計20チーム100名が出場予定です。一流選手の迫力あるレースを間近で観戦できる折角の機会ですので、是非治道から応援してください。

【第1ステージ】
9月1日(木)(個人タイムトライアル・1km)
8:30～10:15ころ札幌市豊平区豊平川河川敷地(南七条大橋付近)

【第2ステージ】
9月1日(木)(ロードレース・111km)
13:00スタート札幌市南区(アパホテル前)～小樽市など～倶知安町(公民館手前)15:46ころフィニッシュ

【第3ステージ】
9月2日(金)(ロードレース・180km)
9:30スタート倶知安町(ヒラフスキー場前)～倶知安町(ヒラフスキー場前)14:05ころフィニッシュ

【第4ステージ】
9月3日(土)(ロードレース・219km)
9:30スタート倶知安町(ヒラフスキー場前)～洞爺湖町など～札幌市(真駒内公園)15:04ころフィニッシュ

ツール・ド・北海道2016開催のお知らせ(PDF 312KB)

小樽市通過予定時刻

第2ステージ9月1日(木)
14:02ころ 道道1号札幌・小樽境界
14:18ころ 道道1号朝里クラッセホテル前
14:24ころ 望洋台大橋先(ホッスボット)
14:25ころ 望洋台中学校前

参考リンク

ツール北海道 TOUR DE HOKKAIDO 2016 外部サイト



生涯スポーツ課

教育委員会教育生涯スポーツ課
〒044-0024
小樽市花園1丁目10番1号
電話 134-32-4111 内線319, 415
ファクス 0134-32-6608
sympo@city-otaru.jp

- 個人情報取り扱いについて
- 著作権・リンク等
- 小樽市ホームページの利用方法
- ご意見・お問合せをお寄せください



このサイトは鳥取県CMで構築されています。
Copyright © 2009 Otaru City.

●小樽市 HP掲載

ツール・ド・北海道2016 報道・広報-10

～市町村広報誌等の広報-②～

ツール・ド・北海道2016開催のお知らせ

国際自転車競技連合(UCI)公認の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道」が9月1日札幌市で開幕し、3日間で通算17市町村511kmを走ります。本大会は30箇所の観戦ポイントを設け、海外及び国内から合計20チーム100名が出場予定です。一流選手の迫力あるレースを観戦できる折角の機会ですので、是非沿道から応援してください！

【第1ステージ】9月1日(木)個人タイムトライアル(14km)8:30～10:15に札幌市豊平区 豊平川河川敷地(南七条大橋付近)
 【第2ステージ】9月2日(金)ロードレース(111km)13:00スタート 札幌市南区(ファクトリアル前)～小樽市～倶知安町(公民館前)15.46kmのフィニッシュ
 【第3ステージ】9月2日(金)ロードレース(110km)9:30スタート 倶知安町(ヒラフスキー場前)～蘭越町(ヒラフスキー場前)14.05kmのフィニッシュ
 【第4ステージ】9月3日(土)ロードレース(219km)9:30スタート 倶知安町(ヒラフスキー場前)～蘭越町(ヒラフスキー場前)～札幌市(真駒内公園)15.04kmのフィニッシュ

小樽市通過予定時刻 第2ステージ 9月1日(木) 14:02に4道1号 札幌～小樽境界～14:15に4道1号 朝里川境界～14:24に4道1号 望平台大橋(ホトスボット)

交通規制にご協力ください

上記のほか大会期間中、競技車列通過時刻の約3分前から車列が通過するまでの間(最大で20分程度)、車両・歩行者の通行制限等交通規制が行われます。ご理解のうえ、現場の警察官の指示に従ってください。また、渋滞が発生する場合がありますので、規制時間帯を避けるか迂回するなど、交通の遅延緩和にご協力をお願いします。

★規制の方法
 競技車列は、先頭には規制予告のマーク、最後尾には規制解除のマークが来ます。原則として競技車列に順行する車両は車列に入らない限り後方を追従して走行できますが、車列の追い越しや割り込みはできません。競技車列に対する車両は規制された区域以外では通行して通行できますが、車列と交差する車両及び交差点では、車列が通過するまでの間交通が規制されます。

問い合わせ 小樽市教育委員会生涯スポーツ課 ☎ 0134-32-4111
 ツール・ド・北海道2016実行委員会 ☎ 011-222-5922

●小樽市 HP掲載

ツール・ド・北海道2016

第3ステージ

2日目の第3ステージと市民ロードレース(A/Cの3コース)が同時に開催されるため、広い範囲で交通規制が予定されています(緑色の道路がコースとなります)。

●蘭越町 広報らんこし7月号掲載

ツール・ド・北海道開催
 毎年、道内各地で開催される自転車国際レース「ツール・ド・北海道国際大会」が、今年は二セコ町内にもコースが設定されました。なお、競技中はコースとなる国道や道道、町道に交通規制が行われますので、ご協力をお願いします。

■開催日時 9月2日(金) 3日(土)
 ■問合せ/勤ツール・ド・北海道協会
 ☎ 011-222-5922

◆ツール・ド・北海道2016
 ツール・ド・北海道は、道央地域において9月1日(木)から3日(土)までの3日間で全4ステージを開催します。1日(木)に豊平川河川敷地特設会場(札幌市)で出発式を行った後、午後からの第2ステージは札幌市をスタートし、町公民館前でフィニッシュする111kmのコースです。翌2日(金)の第3ステージは二セコ・グランヒラフスキー場がスタート地点とフィニッシュ地点となっている180kmのコースです。最終日3日(土)は、二セコ・グランヒラフスキー場前をスタートし、札幌市でフィニッシュする219kmのコースです。当日は町内の一部で交通規制が予定されています。

※交通規制の詳細は、今月号広報折込チラシをご覧ください

●倶知安町 広報くちちゃん8月号掲載



●二セコ町 広報二セコ8月号掲載

ツール・ド・北海道2016 報道・広報-11

～市町村広報誌等の広報-③～

全日本選手権
第30回全国選手権自転車競技大会
まっかりを駆け抜けました

9月2日(土)～3日(日)に国内最大の自転車ロードレース、ツール・ド・北海道2016が開催され、真狩村も一部コースとなり、自転車が走り抜けました。



2日前、社会通が走り抜けました。



3日は、いよいよ真狩村から交通支障が心配なところ！
観戦に訪れた人もたくさんいましたよ！



目の前を走り抜ける自転車は、走り抜けた！



自転車のスピードが速くて、目の前を通過するのは、本当に一瞬の出来事でしたが、観戦していた皆さんもレースの面白さを感じていました。



●真狩村 まっかりの風のたより8月号掲載

ツール・ド・北海道のお知らせ

国際自転車競技連合(UCI)公認の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道2016」が9月1日札幌市で開幕し、3日間で道央17市町村511kmを走破します。

本大会は30回目の節目を迎え、海外および国内から合計20チーム100名が出場予定です。一流選手の迫力あるレースを間近で観戦できる折角の機会ですので、ぜひ沿道から応援をお願いします。

※競技車列通過時刻の約3分前から車列が通過するまでの間、交通管制が行われますので、現場の警察官の指示に従ってください。

【第4ステージ】

9月3日(土)《ロードレース・219km》
午前9時30分スタート→倶知安町(ヒラフスキー場前)～洞爺湖町など～札幌市(真駒内公園)午後3時4分頃フィニッシュ

■豊浦町の通過ルート

留寿都方面→豊浦町大和→桜→洞爺湖町花和【旧大和小学校付近】

・午前11時20分頃から
11時50分頃通過予定

【桜公民館付近】

・午前11時30分頃から
午後0時5分頃通過予定

問 水産商工振興課 商工観光係 ☎ 83-1408

●豊浦町 広報とようら8月号掲載

ツール・ド・北海道2016(第30回大会) 開催のお知らせ

国際自転車競技連合(UCI)公認の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道2016」が9月1日札幌市で開幕し、3日間で道央17市町村511kmを走破します。

本大会は30回目の節目を迎え、海外及び国内から合計20チーム100名が出場予定です。一流選手の迫力あるレースを間近で観戦できる折角の機会ですので、是非沿道から応援してください！

【第1ステージ】 9月1日(木)《個人タイムトライアル・1km》8:30～10:15ころ

札幌市豊平区豊平川河川敷地(南七条大橋付近)

【第2ステージ】 9月1日(木)《ロードレース・111km》13:00スタート

札幌市南区(アパホテル前)～小樽市など～倶知安町(公民館手前)15:46ころフィニッシュ

【第3ステージ】 9月2日(金)《ロードレース・180km》9:30スタート

倶知安町(ヒラフスキー場前)～蘭越町など～倶知安町(ヒラフスキー場前)14:05ころフィニッシュ

【第4ステージ】 9月3日(土)《ロードレース・219km》9:30スタート

倶知安町(ヒラフスキー場前)～洞爺湖町など～札幌市(真駒内公園)15:04ころフィニッシュ

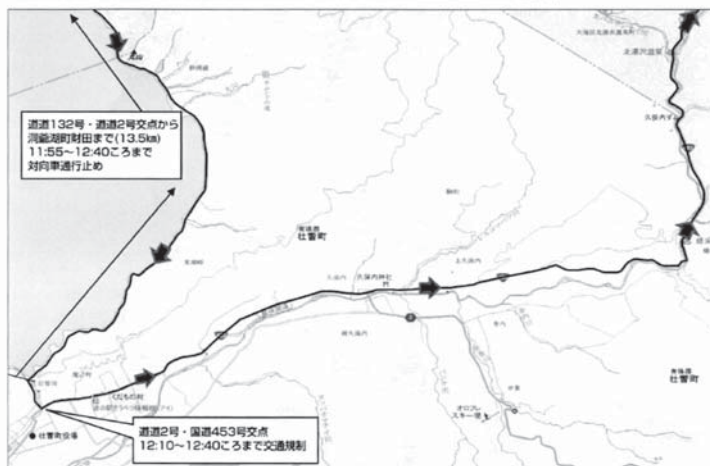
壮瞥町の自転車通過予定時刻 第4ステージ 9月3日(土)12:10ころ

洞爺湖町との境界通過→壮瞥町→12:44ころ伊達市との境界通過予定



●壮瞥町 広報そうべつ8月号掲載

～市町村広報誌等の広報-④～

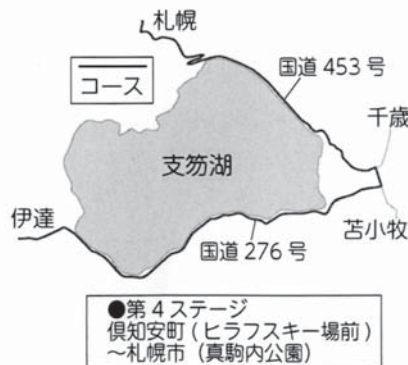


ツール・ド・北海道2016実行委員会 (☎011-222-5922)

●伊達市 広報だて8月号掲載

ツール・ド・北海道2016 報道・広報-13

～市町村広報誌等の広報-⑤～



※レースの状況により、規制時間が前後することがあります。

ツール・ド・北海道の開催に伴い、支笏湖周辺の国道276号および国道453号が交通規制されます。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

ツール・ド・北海道の開催に伴う交通規制
スポーツ振興課
スポーツ振興係
☎(24) 0855
教育委員会 庁舎1階

●千歳市 広報ちとせ 8月号掲載

01 詳スポーツ推進室
or.jp/2016/index.html
www.tour-de-hokkaido.jp

国内唯一の本格的な自転車競技です。9月3日の第4ステージでは、倶知安町をスタートし、苫小牧市を経由して札幌市でゴールします。コースなどの詳細はHP (http://www.tour-de-hokkaido.jp/2016/index.html) 詳スポーツ推進室 34 96

●苫小牧市 広報とまこまい 7月号掲載

2016 ツール・ド・北海道

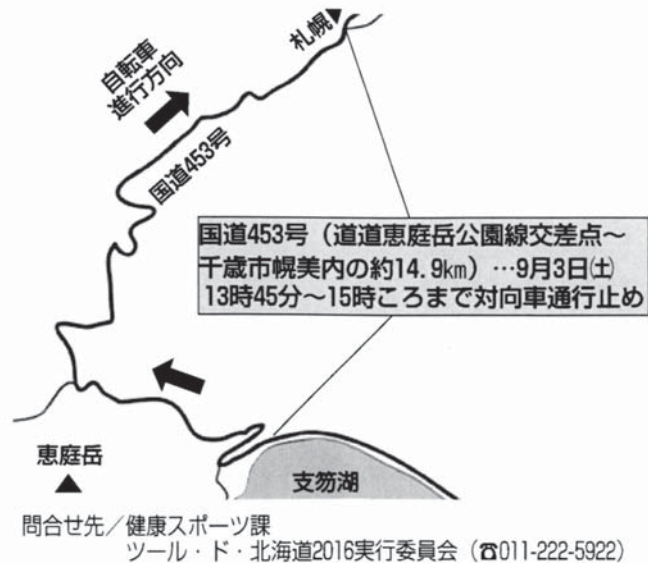
9月1日(木)～3日(土) 3日間

ツール・ド・北海道2016開催に伴う交通規制にご協力ください

「ツール・ド・北海道」が9月1日(木)に札幌市で開幕し、参加者が道央17市町村(511km)を走破します。



特に、3日(土)の第4ステージは恵庭市の国道453号を走行し、走行路線で交通規制が行われますので、ご協力をお願いします。



●恵庭市 広報えにわ 8月号掲載

その他の広報活動

■イベント情報掲載

- 「じゃらんnet」北海道のイベント (協同組合インフォメーションテクノロジー関西)
- 「Yahoo!ロコ」北海道のイベント (協同組合インフォメーションテクノロジー関西)
- 「webサイトぐうたび北海道」イベント情報 (北海道バリューズコープ)
- 「サイクルスポーツ」イベント情報 8～9月号 (八重洲出版)

■テレビ放送

HTB (道内)	9月3日(土)	23時10分～23時11分
HTB (道内)	10月6日(木)	9時55分～10時50分
HTB (再放送)	10月8日(土)	24時45分～25時45分

ツール・ド・北海道2016 主催・後援・協力・協賛一覧

●主催

公益財団法人ツール・ド・北海道協会
公益財団法人日本自転車競技連盟

●後援

国土交通省
スポーツ庁
経済産業省
北海道
北海道市長会
北海道町村会
公益財団法人JKA
公益財団法人日本体育協会
公益財団法人日本オリンピック委員会
一般財団法人日本自転車普及協会
一般社団法人自転車協会
NHK札幌放送局
北海道テレビ放送株式会社
北海道経済連合会
一般社団法人北海道商工会議所連合会
公益社団法人北海道観光振興機構
一般社団法人北海道建設業協会
一般社団法人北海道舗装事業協会
一般社団法人日本道路建設業協会北海道支部
北海道アスファルト合材協会
一般社団法人北海道バス協会
公益社団法人北海道トラック協会

●特別協力

北海道新聞社

●協力

北海道開発局
北海道経済産業局
札幌市、小樽市、赤井川村、倶知安町、共和町、蘭越町
ニセコ町、京極町、喜茂別町、真狩村、洞爺湖町、豊浦町
壮瞥町、伊達市、千歳市、苫小牧市、恵庭市
公益財団法人北海道体育協会
一般財団法人北海道交通安全協会
北海道自転車競技連盟
北海道自転車軽自動車商業協同組合
北海道自転車協会
北海道サイクリング協会
特定非営利活動法人北海道歩くスキー協会

●特別協賛

株式会社NIPPO
株式会社ロイズコンフェクト
富士重工業株式会社

●協賛各社

株式会社阿部商会
アメアスポーツジャパン株式会社
井上ゴム工業株式会社
ウェッジ株式会社
HTM株式会社
京極製氷株式会社
サッポロビール株式会社
株式会社JTB北海道
株式会社シマノ・シマノセールス株式会社
株式会社写真工芸社
損害保険ジャパン日本興亜株式会社
株式会社日直商会
パナソニックサイクルテック株式会社
株式会社パールイズミ
ブリヂストンサイクル株式会社
株式会社マトリックス
マルスイ冷蔵株式会社
株式会社丸ヨ池内

岩田地崎建設株式会社
株式会社大林組
株式会社開発工営社
こぶし建設株式会社
大成建設株式会社
株式会社ドボク管理
日吉建設株式会社
北土建設株式会社
丸彦渡辺建設株式会社

ツール・ド・北海道2016 大会役員名簿

● 総 裁 綿 貫 民 輔 公益財団法人ツール・ド・北海道協会会長

● 副 総 裁 高 橋 はるみ 北海道知事[協会顧問]
秋 元 克 広 札幌市長[協会顧問]
西 原 巧 公益財団法人ツール・ド・北海道協会顧問
眞 田 眞 公益財団法人ツール・ド・北海道協会顧問
河 本 英 典 綾羽株式会社取締役社長[協会顧問]

● 大 会 長 山 本 隆 幸 公益財団法人ツール・ド・北海道協会理事長

● 副大会長 橋 本 聖 子 公益財団法人日本自転車競技連盟会長
吉 田 和 憲 公益財団法人JKA会長

● 大会顧問 今 日出人 国土交通省北海道開発局長
児 嶋 秀 平 経済産業省北海道経済産業局長

● 大会参与(五十音順)

赤 松 宏 赤井川村長	棚 野 孝 夫 北海道町村会会長(白糠町長)
池 田 明 聡 池田明聡公認会計士事務所公認会計士	辻 信 三 医療法人社団東桑会札幌北クリニック情報管理顧問
石 川 栄 男 株式会社NIPPO北海道支店執行役員支店長	恒 松 浩 日本学生自転車競技連盟評議員
岩 倉 博 文 苫小牧市長	難波江 完 三 国土交通省北海道開発局札幌開発建設部長
大 島 研 一 公益財団法人日本自転車競技連盟副会長	西 江 栄 二 倶知安町長
小 川 魁 北海道サイクリング協会会長代行	原 田 裕 恵庭市長
小 川 敏 雄 社会福祉法人扶桑苑理事長	日 浅 尚 子 株式会社道新文化センター代表取締役社長
片 山 健 也 ニセコ町長	福 島 厚 公益財団法人JKA執行理事
菊 谷 秀 吉 北海道市長会会長(伊達市長)	真 屋 敏 春 洞爺湖町長
倉 内 公 嘉 国土交通省北海道開発局小樽開発建設部長	宮内谷 留 雄 蘭越町長
小 磯 修 二 北海道大学公共政策大学院特任教授	宮 島 滋 近 国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部長
斉 藤 智 徳 株式会社北英建設顧問	村 井 洋 一 豊浦町長
坂 敏 弘 一般社団法人北海道建設業協会副会長	森 井 秀 明 小樽市長
佐々木 和 見 真狩村長	森 野 和 泰 公益財団法人北海道体育協会副会長
笹 部 俊 雄 公益財団法人JKA専務理事	安 江 哲 株式会社北未来技研代表取締役社長
佐 藤 秀 敏 壮瞥町長	山 口 幸太郎 千歳市長
渋谷 良 二 一般財団法人日本自転車普及協会常務理事	山 崎 一 雄 京極町長
菅 原 章 嗣 喜茂別町長	山 本 栄 二 共和町長
住 吉 徳 文 サッポロビール株式会社北海道本社副代表	山 本 邦 彦 北海道空港株式会社取締役副会長
高 松 泰 北海道大学公共政策大学院特任教授	渡 辺 一 郎 一般社団法人北海道舗装事業協会会長

ツール・ド・北海道2016 実行委員会名簿

委員長 勇 崎 恒 也 公益財団法人北海道体育協会顧問
副委員長 穴 田 勝 彦 公益財団法人日本自転車競技連盟参与
副委員長 小 野 盛 秀 北海道自転車競技連盟会長

所属 委員 幹事

■各団体

北海道自転車軽自動車商業協同組合	理事長	小 野 盛 秀	副理事長	高 橋 嘉 弘
			副理事長	服 部 好 泰
北海道自転車協会	会 長	村 山 文 彦		
北海道サイクリング協会	会長代行	小 川 魁	理 事 長	村 上 昌 美
特定非営利活動法人北海道歩くスキー協会	代表理事	浜 島 泉	理 事	池 内 勝 治
一般財団法人北海道交通安全協会	専務理事	北 森 繁	常務理事	新 谷 恵 司
公益財団法人北海道体育協会	専務理事	坂 本 和 彦		
公益社団法人北海道観光振興機構	専務理事	竹 谷 英 一		

■国土交通省 北海道開発局

国土交通省 北海道開発局	建設部長	石 田 悦 一	開発調整課長	樺 澤 孝 人
	開発監理部次長	原 俊 哉	開発調整課長補佐	谷 聡
			建設行政課長	安 永 克 博
			河川計画課長	石 塚 宗 司
			道路計画課長	谷 村 昌 史
			道路建設課長	橋 本 幸
			道路維持課長	坂 場 武 彦
			港湾計画課長	中 島 靖
(札幌開発建設部)			次長 (総務担当)	小 泉 祐 智
			次長 (道路・空港・公園担当)	桑 島 正 樹
(小樽開発建設部)			次長 (総務担当)	加 藤 章
			次長 (河川・道路担当)	久保田 啓二朗
(室蘭開発建設部)			次長 (総務担当)	大 屋 充 史
			次長 (河川・道路担当)	山 梨 高 裕

■北海道

北 海 道	環境生活部長	小 玉 俊 宏	環境生活部 文化・スポーツ局 スポーツ振興課長	長谷川 浩 幸
			建設部 建設政策局 維持管理防災課維持担当課長	若 山 浩
			建設部 建設政策局 維持管理防災課管理担当課長	早 川 隆 則
			建設部 土木局 道路課長	宮 下 忠 昭
(石狩振興局)			副 局 長	椿 谷 信 雄
(後志総合振興局)			副 局 長	森 元 紀 昭
			小樽建設管理部 地域調整課長	工 藤 高 宏
(胆振総合振興局)			副 局 長	下 宮 俊 明
			室蘭建設管理部 地域調整課長	河 合 龍 寿

■市町村

札幌市	スポーツ部長	手 島 久仁彦	企画事業課長	吉 田 満
小樽市	教育部長	工 藤 裕 司	生涯スポーツ課長	丸 田 健太郎
赤井川村	副村長	高 木 康 行	総務課長	小 畑 信 幸
倶知安町	副町長	窪 田 栄	総合政策課長	文 字 一 志
共和町	副町長	竹 内 孝	企画振興課長	成 田 慎 一
蘭越町	副町長	金 秀 行	総務課長	山 内 勲
ニセコ町	副町長	林 知 己	商工観光課長	前 原 功 治
京極町	副町長	矢 戸 貢	企画振興課長	榎 本 美智子
喜茂別町	副町長	内 村 俊 二	総務課企画室長	大 井 真 利
真狩村	副村長	大 平 慎一郎	総務企画課参事	酒 元 秀 利
洞爺湖町	副町長	森 寿 浩	観光振興課長	佐々木 清 志
豊浦町	副町長	小 川 英 紀	水産商工振興課長	杉 谷 佳 昭
壮瞥町	副町長	杉 村 治 男	商工観光課長	斉 藤 英 俊
伊達市	企画財政部長	石 澤 高 幸	企画課長	高 田 真 次
千歳市	観光スポーツ部長	小 田 賢 一	スポーツ振興課長	廣 瀬 誠 生
苫小牧市	総合政策部長	富 田 聡 子	スポーツ推進室長	澤 田 憲 生
恵庭市	保健福祉部長	船 田 清	健康スポーツ課長	嘉 屋 秀 樹

ツール・ド・北海道2016 大会競技役員名簿

■大会実行委員長

勇崎 恒也

■大会実行副委員長

穴田 勝彦・小野 盛秀

■総務委員長・大会ディレクター

山本 隆幸

■総務副委員長

和田 俊博

■総務委員

尾埜 森己・湊 雄一・石戸谷 眞逸・大脇 恒夫
堀江 洋一郎・小塚 耕平・高道 宏司・奥塚 静雄
土屋 朋子・小林 かおり・児玉 万里・真田 英夫

(協会事務局)

牛島 元嗣・中山 忠雄・木田 光良・山田 幸雄

(式典・賞典担当)

一関 祐次

(市民レース担当)

堀江 洋一郎・板谷 治・安倍 明政・五十嵐 誠
鈴木 秀之・遊佐 義彦・百瀬 堅・真田 達雄
平井 友昭

(チーム担当)

高橋 幸久・古谷 裕佳・土屋 朋子

(通訳)

デーヴィット バーネット

(警備・コース担当)

石戸谷 眞逸・小野 俊博・今野 昭二・林 公悦

(会場・車両担当)

澤田 順一・鈴木 伸二・林 実雄・湯口 雄司
武田 正好

(交通対策担当)

嶋田 隆・柏木 康男

(オートバイエスコート)

田中 隆・樽見 隆男・小林 久人・前田 実・萱原 孝行
鈴木 信行・山口 哲夫・近藤 敏子

■広報委員長

加賀 雅実

■ 広報副委員長

湊 雄一

(広報担当)

山内 康史・芦田 千里

(集計・コミュニケ担当)

大脇 恒夫・堀江 洋一郎・島村 千樹・尾西 基樹
灘 幸宏・小牧 祐也・大島居 雅

■審判長

口ヒナヴィ ナタボン

■競技ディレクター

大島 研一・小野 盛秀

■コミセールパネル

森尻 展充・斉藤 晃一郎

(審判員)

大脇 恒夫・坂本 陽一・中村 恭治・富和 清訓
中野崎 敏幸・吉清水 一之・櫻澤 幸雄・坂本 満
森本 聡・藤原 盛一・假谷 豊・若生 宏
渡辺 知明・綿貫 光子・愛場 政広・中安 基之
小口 英之・小野口 智美・奥原 進治・向井 資晴
藤沼 真弓・岡田 将太・山田 里奈・十時 正一郎
佐々木 博・宮里 武志・力石 達也・高橋 松吉
清水 一孝・夏目 幸・大野 直志・末吉 敦
勝見 洋一・長谷部 信一・近岡 紀子・山口 智裕
椎名 直子・石垣 秀人・中井 豊・大貫 勝豊
平出 剛一・蓮沼 英司・酒井 和彦・石橋 旭
金澤 昭二・池田 正二郎・千葉 鶴也・穴田 裕哉
池田 恭子・泉 隆・市原 雅幸・岡部 克
岡部 美知子・奥村 隆一・鴨川 敬・菊地 ひずる
岸澤 隆・木村 俊一・櫻井 雅彦・坂 知明
佐藤 泉・佐藤 雅憲・重田 康成・菅 清香
外崎 修・津田 欣一・鶴田 数義・寺井 英治
西野 勝士・野中 勇一・長谷 孝一・福島 剛
堀 英子・堀江 洋一郎・松藤 英紀・松田 茂
室井 文男・数下 昌也・和田 真宏・高井 孝二
工藤 貴行・陣野原 勝・前田 和輝・鴨川 有李
脇山 淳・田中 健一・上野 幸二

■ドーピングコントロール

(ドーピングコントロールオフィサー)

鈴木 靖・佐藤 裕・久保 晋大

(シャペロン)

岡本 敬介・窪田 篤人・加藤 信太郎

(事務局担当)

宮 孝司

■NF Rep (国内競技団体代表)

笠師 久美子

■医務担当医師

青木 昌弘・伊藤 秀行・山田 隆宏・前田 慶太郎

■医務・医療担当

松田 悦子・秋保 頼子・出羽 寿恵・石川 敬子
重田 亜紀子・松田 祐香・川村 勝幸・村田 俊一

■ニュートラルサービス担当

坂東 晃・高橋 義彦・三瀧 光誠・竹村 孝行
藤沼 和成・川口 朋・石倉 龍二・引間 大介
猪瀬 昇太・寺田 稔・西村 莊平・早坂 幸久

■補給地点担当

澤田 賢吉・松居 勝徳

■選手収容担当

高橋 幸久・古谷 裕佳

ツール・ド・北海道2016 賛助会員名簿

●法人

一般社団法人 網走建設業協会
一般財団法人 石狩川振興財団
小樽建設協会
一般社団法人 寒地港湾技術研究センター
札幌自転車競技連盟
一般社団法人 函館建設業協会
一般社団法人 北海道開発技術センター
一般財団法人 北海道開発協会
一般財団法人 北海道河川財団
一般財団法人 北海道コンクリート技術センター
北海道自転車軽自動車商業協同組合
一般社団法人 北海道商工会議所連合会
一般社団法人 北海道測量設計業協会
一般財団法人 北海道道路管理技術センター
一般社団法人 北海道土地改良建設協会
一般社団法人 北海道土地改良設計技術協会
公益社団法人 北海道トラック協会
稚内建設協会

葵建設株式会社
赤川建設興業株式会社
阿寒共立土建株式会社
秋津道路株式会社
旭イノベックス株式会社
株式会社アサヒ建設コンサルタント
あすなろ道路株式会社
綾羽株式会社
荒井建設株式会社
株式会社安藤・間 札幌支店
株式会社生駒組
勇建設株式会社
株式会社 石山組
株式会社伊豆倉組
株式会社磯田組
株式会社伊藤組
伊藤組土建 株式会社
株式会社伊藤工業
岩倉建設株式会社
岩田地崎建設株式会社
植村建設株式会社
株式会社エーティック
株式会社園建
及川産業株式会社
大江建設株式会社
株式会社大林組 札幌支店
大林道路株式会社 北海道支店
株式会社ガイアート・K 北海道支店
株式会社開発工営社
開発工建株式会社
鹿島道路株式会社 北海道支店
鎌田輪業有限会社
機械開発北旺株式会社

岸本産業 株式会社
株式会社北一組
北日本港湾コンサルタント株式会社
協和八光建設株式会社
株式会社近代設計 札幌支店
草野作工株式会社
栗林建設株式会社
光栄建設工業株式会社
株式会社構研エンジニアリング
株式会社小金澤組
小針土建株式会社
こぶし建設株式会社
有限会社サイクル小野サッポロ
斉藤井出建設株式会社
坂野建設株式会社
株式会社佐々木建設
札幌工業株式会社
札幌建設運送株式会社
沢田建設株式会社
三協建設株式会社
三共電気工業株式会社
株式会社サン広告社
JXトレーディング株式会社
清水建設株式会社 北海道支店
白崎建設株式会社
株式会社シン技術コンサル
新太平洋建設株式会社
新島工業株式会社
新谷建設株式会社
杉原建設株式会社
世紀東急工業株式会社 北海道支店
株式会社総北海 札幌支店
大成ロテック株式会社 北海道支店
大地コンサルタント株式会社
大同舗道株式会社
大北土建工業株式会社
株式会社ダイヤコンサルタント北海道支店
株式会社高組
高玉建設工業株式会社
タカハタ建設株式会社
株式会社田中組
株式会社田中工業
株式会社谷脇組
株式会社 田端本堂カンパニー
株式会社玉川組
株式会社田宮設計事務所
地崎道路株式会社 北海道支店
中央コンサルタンツ株式会社 札幌支店
株式会社通電技術
辻谷建設株式会社
ツバメ工業株式会社
株式会社DSP
鉄建建設株式会社 札幌支店

電通設備株式会社
東亜道路工業株式会社 北海道支店
東海建設株式会社
株式会社東京鉄骨橋梁 北海道支店
道興建設株式会社
東光舗道株式会社
株式会社東洋実業
道路建設株式会社
道路工業株式会社
株式会社ドーコン
徳井建設工業株式会社
戸田建設株式会社 札幌支店
戸田道路株式会社 札幌営業所
飛鳥建設株式会社 札幌支店
株式会社ドボク管理
株式会社土木技術コンサルタント
中道リース株式会社
株式会社中山組
西江建設株式会社
西松建設株式会社 札幌支店
株式会社日栄建設
日成建設株式会社
日測技研株式会社
日本工営株式会社 札幌支店
日本データーサービス株式会社
日本道路株式会社 北海道支店
株式会社野田組
パシフィックコンサルタンツ株式会社
株式会社橋本川島コーポレーション
花本建設株式会社
パブリックコンサルタント株式会社
東日本道路株式会社
日吉建設株式会社
株式会社廣野組
不二建設株式会社
富士新舗道株式会社
株式会社藤田組
藤原工業株式会社
株式会社不動テトラ 北海道支店
萌州建設株式会社
北央道路工業株式会社
北斗徽章株式会社
北土建設株式会社
北都道路株式会社
株式会社北開水工コンサルタント
北海道空港株式会社
株式会社北海道新聞社
北海道道路エンジニアリング株式会社
株式会社北海道丸和ロジスティクス
北海道ロードメンテナンス株式会社
株式会社堀口組
堀松建設工業株式会社
幌村建設株式会社

前田建設工業株式会社 北海道支店
前田道路株式会社 北海道支店
丸建道路株式会社 札幌支店
丸駒シビルサービス株式会社
丸彦渡辺建設株式会社
三井住建道路株式会社 北海道支店
宮坂建設工業株式会社
宮永建設株式会社
株式会社宮原組
宮脇土建株式会社
村井建設株式会社
株式会社盛永組
株式会社森本商会
株式会社山内組
株式会社山口工業所
山高建設工業株式会社
株式会社山田組
株式会社山伏パコム
山本電子工業株式会社
渡辺建設工業株式会社

●個人

阿部 芳昭
牛島 元嗣
梅田 勝
大野裕一郎
小塚 耕平
鈴木 秀之
清崎 晶雄
田下 啓一
恒松 浩
東岱 庄一
巻 登
遊佐 義彦
渡辺 総悦



TOUR DE HOKKAIDO

お問い合わせ先 / For further information

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目1番地23 第二道通ビル 5階
Daini Dotsu Bldg. 5F, North 5, West 6, Chuo-ku, Sapporo, 060-0005, Japan

公益財団法人ツール・ド・北海道協会 / Tour de Hokkaido Association

電話 (011) 222-5922 ファックス (011) 232-4604

Tel+81-11-222-5922 Fax+81-11-232-4604

<http://www.tour-de-hokkaido.or.jp>

E-mail tourde-h@spice.ocn.ne.jp

E-mail tourdech@jasmine.ocn.ne.jp (for English)

公益財団法人日本自転車競技連盟 / JAPAN CYCLING FEDERATION

電話 (03) 6277-2690 ファックス (03) 6277-2691

Tel+81-3-6277-2690 Fax+81-3-6277-2691

<http://www.jcf.or.jp>

E-mail cycling@japan-sports.or.jp

UNION CYCLISTE INTERNATIONALE (国際自転車競技連合)

TEL+41-24-468-5811 FAX+41-24-468-5812



NIPPO

ROYCE'



SUBARU

※表紙のご紹介

この事業報告の表紙は、札幌市立大学との地域産学連携協力の下に制作された同大学デザイン学部の 水石公基 さんの ツール・ド・北海道2016公式ポスターデザインを使用しています。